月曜日４限　「中国文化事情」レポート　担当教師　朱新建
経営学部経営学科一年　大野浩平

中国のバドミントンについて

１．はじめに

今のバドミントン界で、中国は最高のレベルである。その中で世界ランク一位でもあった、中国の最高のプレーヤーを紹介する。また、そのプレーヤーの生い立ち、プレースタイルをまとめていきたい。

２．林丹について

林丹（リン・ダン、LIN　DAN、1983 年 10 月 14 日）
1983 年に福建省上杭に生まれる。五歳のときに林丹の細くてしなやかな指をみた両親の勧めでピアノを始めるが、元来活発な性格だったため、イスの上でじっとしていることに耐えられなくなり一週間で投げ出し、友達と体育館で目にしたバドミントンに魅せられバドミントンをはじめる。六歳の時に地元のスポーツ学校に入学。九歳の時に福建省のスポーツ学校に編入。その後、十二歳の時に人民解放軍所属のバドミントンチーム八一隊に入隊。その後、着実に実力を伸ばし、十八歳の時に中国代表に選出される。
ジュニア時代は、十代からすでに世界ランキング一桁と早くから頭角を表していた同い年の　鮑春来に次ぐ二番手の選手だったが、トップ選手の登竜門と言われるアジアジュニア選手権で優勝し、世界ランキングも急上昇。中国代表としての地位を確かなものにする。その後間もなく世界ランキング一位となり、2004 年の中国国内の熾烈な五輪代表争いをトップで抜け、当然アテネオリンピックでは金メダル獲得を期待された。しかし本番でまさかの一回戦敗退という屈辱を味わう。しかし、その後のトーナメントでは本来の実力を発揮し、世界ランキングトップをキープしている。
強靭な肉体と精神の持ち主でプロ意識が非常に高い。逆転勝利が多く、どんな球でもあきらめずにくらいつく。時に審判から不運な判定を受けたりすると、コート上で大の字になるなどプレイ以外のパフォーマンスにも余念がない。大事な試合の決勝で勝った後、観客に向かって敬礼するパフォーマンスが有名。
　プレースタイル
豊富な運動量と高い身体能力を生かした、やや攻撃的なオールラウンダー。非常に高い瞬発力と持久力を兼ね備えており、長いラリーを引くことも強打でエースをとることもできる。その苦手とする選手が少なく、トーナメントではコンスタントに成績を残している。
サウスポーから繰り出す切れ味の鋭いスマッシュやカットが非常に強力。高く跳びあがって打ち込むそれは、相手に関係なくエースをとることができる。
強靭な肉体を駆使したフットワークのスピードと安定性は世界でもトップレベル。特筆すべき彼の持つ特異なアジリティ能力で、その切り替えの速さが攻撃的なプレイを支えている。
豪快さが目立つが、ネット前でのサウスポー特有のトリッキーで素早いラケットワークも巧みで、綿密さも兼ね備えている。
元々軍隊のバドミントンチームに所属していたせいか、ライン際に打ち込まれたシャトルに虎のごとく飛びつくこともままある。

３．鮑春来について

鮑春来（パオ・チュンライ、BAO CHUN LAI、1983 年 2 月 17 日）
ジュニア時代は中国の１番手として活躍し、中国男子シングルスの次世代のエースとして期待されていた。しかし、トップ選手の登竜門といわれるアジアジュニア選手権で、当時は二番手的そんざいであった同い年の林丹が国際大会初優勝、先を越された形となる。その後林丹は数々のグランプリトーナメントで優勝するなど中国のエースの座を確固たるものにしたのに対し、鮑春来も一時は世界ランキング一位になるなど常に上位はキープしているものの、トーナメントの準決勝や決勝の肝心な場面で勝ちきれない状態が続き、国内シングルス二番手に甘んじる。なかなか優勝できない要因として精神面の弱さを度々指摘されており、そのことで林丹とよく比較されている。近年は団体戦のトマス杯で 2004 年、2006 年に２大会連続プレッシャーのかかる場面での優勝ポイントを獲得しており、メンタルトレーニングの成果が出ているようである。
　プレースタイル
身長は 190cm とバドミントン選手にしてはかなり長身で、機敏さはあまりないものの、長い手足でコート全体をカバーする。また大柄な選手にありがちな動きの硬さもなく、しなやかにコートをかける。
ややパワーに欠けるためスイングスピードは全体的に速くないが、シャトルをスライスする技術に優れており、高い打点から左右に沈める鋭角なカットやスマッシュは、サウスポーということもあり非常に強力。
ラリー中はネットプレーやドリブンクリアーを有効に使って相手を動かし、甘く上がった球をクロスに角度

をつけて沈めるパターンが多い。強打を全力で打つことはあまりなく、コントロールした打球でコースを狙うことを重視している。

４．まとめ
この二人の中国のバドミントン選手は世界でもトップクラスの選手である。世界でも名高い両選手は小さいころから英才教育を受け、厳しい練習に耐えたからこその強さだと思った。自分もバドミントンをやっているが、この両選手のプレーはどのショットもお手本のようでもある。中国と日本との差は、練習の仕方から違う

参考文献
ウィキペディア（林丹）
http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9E%97%E4%B8%B9
ウィキペディア（鮑春来）
http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%AE%91%E6%98%A5%E6%9D%A5

月曜日４限　「中国文化事情」レポート　担当教員　朱新建
経営学部経営学科１年　石川雄大

資源から見た日中関係
―エネルギーを中心に

キーワード：　石炭　経済　エネルギー　石油

1. はじめに

近代日本にとって、資源、エネルギーは最も重要な項目といえる。そのなかで総埋蔵量世界第三位である中国は、隣接していることによる移送費用などを含め、日本にとって重要な位置を占めているだろう。そんな中国の石炭、石油を中心に見ていきたい。

2. 発展とエネルギーとの関係

先進国の多くの発展にエネルギーは欠かせないものである。

① アメリカ

1853 年、日本に来航したペリーの黒船は有名だが、この黒船も石炭を使っている。特に第二次世界大戦での航空機、戦艦、大戦後の戦車などの軍事的にも不可欠と言われるほど重宝されていた。現在でもそうである。

中国に勝るとも劣らないその広大な土地によって日本とは違い自国で賄うことができ、日本と並ぶ経済大国でありながら地下資源と面積がある。また、人口も多くそれに比例して電力エネルギーが必要になっているのは日本と同じなのだ。

② 日本

日本の今日までの発展は一重に石炭と石油のおかげと言っても過言ではない。特に石炭は日本国内で採取でき、まだ日本に現存している数少ないエネルギーの一つである。特に、石油が枯渇するだろうと言われている昨今では石油にとって代わるエネルギーとなるかもしれない。

現在日本の電気は、火力発電、原子力発電、水力発電が主となっているが、最も多いのは火力発電である。石炭と天然ガスと石油を使い、電力を生み出している。

③ この二つの国の共通点は石炭よりも安価な石油を使っているということ。なんだかんだで石油がポピュラーであるということなのだ。

しかし、石油が枯渇するまで「あと何年…」数えるくらいになってしまった。よって先祖帰り…というわけではないが、石炭が使われるようになるだろう。①石炭の利点は安価であること。②石炭は世界中に埋蔵されており、石油のように極端に偏った値段になることはないであろう、ということ。③先でも述べたように日本にも過去炭鉱があり(現在は石狩炭田が残るだけだが)総埋蔵量は石油を遥かに上回る。

そんな石炭が次世代を担っていく可能性は十分にあるのだが、日本国内で賄えるほどは無いし、炭鉱で働こうとする人も少ないし、なおかつ日本国内で行うにはコストがかかりすぎる。

3. 中国の発展－石炭と石油

現在、中国はめまぐるしい発展を遂げている。その中で石炭、石油は無くてはならないものです。広大な面積を誇るその土地を保有する中国。もちろん保有する資源も想像を遥かに超えたものです。また、それらを踏まえたうえで中国の経済はさらに発展し我が日本をも追い越す日は遠くないだろう。

４.日中関係今後どうあるべきか

日本は技術力で成り立っている国である。早い話、常にほかの国よりも精密で技術力の高さを維持していく必要があるわけだが、いつかは他の国などに追いつかれてしまうだろう。というのも、最先端ということは人が考えないこともやってのけなくてはならない。しかし、技術が発展途上な場合は先人がなしたことから多くのことを学べる。故に後から追う人もいつかは追いつくことが可能となるのだ。

その時に、日本で私が今のように暮らせるとは到底思えない。日本の利点は技術力による有利性である。そう考えると、これを生かして今のうちに最も近く資源の豊富な中国と仲良くするべきだろ

う。よって ODA を渋る必要などなく、むしろガンガン協力していき、交友を深めていくべきだろう。

５.まとめ

このように、日本にとって中国は未来のパートナーとなってもらいたい一番の存在だといえる。
また、日本と中国が日中国交正常化したのもつい最近、1972 年の話である。それまで中華人民共和国と国交を持ったことがなかった、というのも今の日本人はどれほどの人が知っているのだろうと考える次第である。
また、私が調べたことから考えると中国が世界経済の指導者的立場となっていくのは揺ぎ無いことだと思う。あれだけの国土、急激な経済成長を見てそう思わない人はいないだろう。今後の中国の発展と日本の発展を願い、その発展に献上できるように修学に勤しもうと思う。

参考文献

1. 中国まるごと百科事典　http://www.allchinainfo.com/profile/city/china_whitemap.html
2. ウィキペディアフリー百科事典
http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8
3.省エネ塾　http://www.eco-juku.com/

参考文献は著者名、出版年、「書名」、出版社
インターネットはアドレスと名前を示す

書式設定は標準文字、フォントは MS 明朝、文字のサイズは 10.5 を選択。

月曜日４限　「中国文化事情」レポート　担当教員　朱新建
経営学部経営学科１年　竹下晃幸

遣隋使について

キーワード：　推古天皇　聖徳太子　小野妹子

1. はじめに

遣隋使は、中国の制度を学ぶためや文化を学ぶことと、隋との対等な外交関係を結び、朝鮮半島に対する日本の立場を有利にしようとする目的がある。当時の隋の皇帝は煬帝である。遣隋使、および初期・遣唐使の派遣目的は隋からの柵封を受けないまま、朝貢関係を維持しつつ、国家建設に不可欠の仏法・儒教・法制・医術など最新の知識の摂取が、使節派遣の最大の目的であった。

2. 推古天皇について

推古天皇は、現在一般に「日本最古の女帝」とされています。推古天皇は、第 33 代の天皇であります。諱は額田部皇女（ぬかたべのひめみこ）です。彼女が最初の天皇号を名乗ったという説と、天武天皇が最初の天皇号使用者との説が有る。推古天皇が最初なら、厳密な意味での日本の初代天皇は女性である。そうすると、国会で騒がれていた女系天皇問題もすんなりいった気がした。推古天皇は開皇 20 年（600 年）に、即位して 8 年目に隋に使者を派遣した。この記録は、「日本書紀」には記載はなく「隋書」「東夷傳倭國傳」に高祖文帝の問いに遣使が答えた様子を載せている。推古 36 年 3 月 7 日（628 年 4 月 15 日）、女帝は 75 歳で小墾田宮において崩御。死の前日に、女帝は敏達天皇の嫡孫・田村皇子を枕元に呼び、謹んで物事を明察するように諭し、さらに聖徳太子の子山背大兄王にも、他人の意見を誡めただけで、後継者の指名は避けたようである。

3. 聖徳太子について

574 年聖徳太子は、父、用明天皇と母、穴穂部間人皇との間に生まれた。本名は厩戸（うまやど）であり、厩戸の前で出産したことによるとの伝説がある。ただし、生誕地の近辺に厩戸（うまやと）という地名があり、そこから名付けられたという説が有力である。別名、豊聡耳（とよさとみみ）、上宮王（かみつみやおう）とも呼ばれた。 推古天皇元年に、摂政として馬子と共に天皇を補佐した。推古天皇 11 年（603 年）いわゆる冠位十二階を定めた。推古天皇 15 年（607 年）、小野妹子、鞍作福利を使者とし大唐国に国書を送った。この時、隋の煬帝（開皇 11 年（591 年）菩薩戒により総持菩薩となる）を「無礼である、二度と取り次がせるな」（「帝覧之不悦 謂鴻臚卿曰 蠻夷書有無禮者 勿復以聞」）と大いに不快にさせた。煬帝は、文帝楊堅の次子として生まれた。文帝により隋が建国されると晋王となり北方の守りに就き、南朝の陳の討伐が行われた際には、討伐軍の総帥として活躍した。この時、初めて華やかな南朝の文化に触れ、当地の仏教界の高僧達と出会ったことが後の煬帝の政治に大きな影響を与えた。聖徳太子の肖像画は過去に紙幣（日本銀行券）の絵柄として何度か使用されている。聖徳太子は、今でも知られている人である。

4. 小野妹子について

小野の妹子（いもこ）は、５世紀から６世紀半ばにかけて天皇家と姻族関係をもった和珥（わに）臣や春日臣と同族の小野氏の出である。出身地は近江国志賀郡小野村（現、志賀町小野付近）とされている。妹子は、二流氏族の青年であるが、６０７年（推古 15）に遣隋使節の大使を拝命した。その理由は、妹子がよほど優れた能吏だったか、それとも股肱の臣として聖徳太子によほど気に入られていたと考えられる。妹子は大礼（だいらい）という冠位を授かった。４年前に制定された新しい冠位制度の上から５番目の冠位である。推古 15(607 年)年 7 月、遣隋使節大使として隋に遣わされる。時に大礼。隋国は妹

子を号して蘇因高といった。 推古 16 年(608 年)4 月、隋より帰朝。隋使・裴世清らの一行を伴う。古代は人名の最後に「～子（あるいは古)」と付ける表現は珍しいものではなかったが、現代の日本では「～子」は女性の名前の最後に付ける文字の定番となっている。小野妹子は男である。

5. まとめ

遣隋使が派遣されたときの国外情勢は、４７８年に倭王武が南朝宋に遣使して柵封を受けて以来、中国王朝との外交関係は途絶えていた。６００年には、１２０数年ぶりに南北朝の統一に成功した隋に使者を遣わし、対中外交が再開された。遣隋使は、推古朝の 18 年間の間に 5 回以上派遣されている。隋が滅びる 618 年まで続けられていた。第１回目は 600 年に派遣されて、第２回目は６０７年に派遣されている。第一回遣隋使は『日本書紀』に記載がなく「隋書」にあるのみである。1 番有名だと思われるのが、２回目だと思う。２回目は、小野妹子が派遣され隋の皇帝（煬帝）を怒らせたこともよく知られて入る。遣隋使を調べて思ったことは、今の日本が遣隋使を派遣したことで早い時期に中国との対等関係を築き上げることができたのだと思う。周りの国々にもこの後、何百年後に迷惑をかけていたことも忘れてはいけないことだと思った。遣隋使は、昔に行われたものなので謎が多いものだと思った。

参考文献

1. http://www2.biglobe.ne.jp/~t-iwata/index.htm　郵趣による古代日本
2. http://www.cnc.ne.jp/ip/　中日新聞　東京新聞　記事データベース
3. http://www.bell.jp/pancho/travel/taisi-siseki/kofun/imoko_no_haka.htm
小野妹子の墓

月曜日　４限　「中国文化事情」レポート　担当教員　朱新建
経営学部現代企業学科１年　奥村直哉

中国の白茶・黄茶について
歴史とその種類

1.　はじめに

中国茶の歴史は古くは紀元前２７００年頃まで遡る。最初は飲むのではなく食用や薬用などに用いられていた。中国茶が一般的に飲まれ始めたのは、紀元前５９年頃のことで、約２０００年前のこと、ということになります。唐代になると茶の木が中国全土で栽培されるようになり、お店もたくさんできていた。この時代のお茶は固形茶が中心でした。宋代になるとお茶の飲み方や器具が新しい変化をみせ、湯に浸し、乾かしてからすって粉末にした茶葉をお椀に入れて湯を注ぐという手法になった。つまり、日本の抹茶のように飲まれるようになった。元の時代になり、香辛料やバターを入れたお茶が普及し始めた。この時代は混ぜ茶や調合茶などが日常に入ってきた時代です。花茶のルーツもここです。明の時代は中国茶の大きな変動の時代であり、明の太祖、朱元璋によって固形茶から散茶にするようお達しがあったため、それ以後本格的に散茶が製造されるようになってきた。清代は香茶や花茶が広がり歓迎された。近代史に入るとアヘン戦争により茶貿易の権利が掌握され、日清戦争のころには茶貿易はかなり縮小し、生産も激減した。現在では、政府は茶行の復興に力を注ぎ今ではインドに次ぐ世界第二位のお茶の生産国になっている。

2.　白茶と黄茶

中国茶は、大きく分けて 7 つの種類があります。緑茶、紅茶、花茶、黒茶、青茶、黄茶、白茶の 7 つです。前の 3 つは日本でもよく飲まれているものだと思います。黒茶はプーアル茶といえば馴染みがあるでしょう。青茶もウーロン茶と言えばよくわかると思います。残りの二つ黄茶と白茶ですが、これは日本ではあまり見ることはありません。というわけで白茶と黄茶について詳しく調べていきたいと思います。

2.1 白茶

白茶は福建省の特産品でほかの地域ではほとんど作られてないようです。なぜ福建省だけなのか、詳しい理由はわかりませんが福建省以外では採れないそうなので、恐らくムリに生産するよりは違うお茶を生産したほうが儲かるからでしょう。それに白茶には熱を放出させる効果があるそうなので、福建省などの南のほうでよく飲まれるからかもしれません。白茶は木の種類と茶葉を採取するタイミングによって 3 つに分けられるそうです。1 つ目は大白種と呼ばれる木の新芽だけから作られた白毫銀針とよばれるお茶です。これは茶摘みの時期を間違えると、その年は作れないという生産量も少ないデリケートな中国茶だそうです。2 つ目は水仙種と呼ばれる木から作られたものを白牡丹といい、3 つ目は小白種から作られる寿眉といいます。寿眉のなかでも品質のいいものを貢眉といいます。福建省や香港などでは暑い季節に熱中症の防止やストレス解消に効果があるということで飲まれるそうです。中国で流通量も少ないので日本では手に入りにくいお茶ですが、2005 年にアサヒ飲料、2006 年に大塚ベバレジからペットボトル飲料としてでており、日本でも少なからず知られているようです。

2.2 黄茶

黄茶は主に湖南省と安徽省で作られていますが、作るのに非常に手間がかかるため生産量は少なくそれゆえに貴重な名茶になっているそうです。どれくらい貴重は値段に現れています。100 グラム 1 万円を超えるものも決して珍しくは無いという値段から中国でも珍しいものなのだと推測できます。味わいは緑茶に近いということで是非一度飲んでみたいものです。湖南省の代表的なお茶で君山銀針というお茶があります。これは摘んだばかりの新芽で作られています。四川省では蒙頂黄芽と呼ばれるお茶が作られていて白居易にも絶賛されたらしいです。

3.　まとめ

中国のお茶の歴史は思っていたより深く広かった。今回は白茶と黄茶について書いたが、また違う種類のお茶も調べてみると興味深いことが書いてあった。現在では世界中で飲まれているお茶。自分では緑茶やウーロン茶、比較的日本で手に入りやすいものは飲むが白茶などちょっと手間のかかるものは飲んだことが無い。漢方的な面から見てもお茶はさまざまな効果を持っているので、中国に行った際には是非いいものを買って飲んでみたいものである。

参考文献

1.　中国茶の歴史　http://www.chang0605.com/index.html
2.　中国茶朋友会　http://www.chinese-tea.info/index.html
3.　中国茶の種類　http://www.dab.hi-ho.ne.jp/jef-kawahara/cha/chavariety.html

月曜日４限　「中国文化事情」レポート　担当教員　朱新建
経営学部経営学科１年　小川直樹

香港競馬について

1. はじめに

香港で初めて競馬が行われたのは、1845 年。イギリスからの初期入植者によって紹介された。しかし、本格的な競馬になったのは、翌年からで、開始当初は正月の１回のみ行われていた。現在は、香港にある２ヶ所の競馬場(シャティン競馬場、ハッピーヴァレー競馬場)で、シャティン競馬場では毎週土曜日または日曜日の昼に、ハッピーヴァレー競馬場では、水曜日の夜に開催されているが、雨の多い 6 月中旬から 9 月中旬頃はどちらも開催されていない。ちなみに日本の中央競馬は、土・日(大半は 10 時から 5 時まで)に、地方競馬では主に平日に行われている。香港の競馬は、香港ジョッキークラブによって運営されている。香港では、競馬は最も人気のある観客スポーツとして市民に親しまれている。香港の競馬市場は、日本・アメリカに次ぐ世界第 3 位の規模。

2. 香港ジョッキークラブについて

香港ジョッキークラブは 1884 年に設立された世界でも大きな競馬組織の 1 つであり、香港の競馬を運営している組織である。設立当初は、競馬の管理・運営のみを行い、馬券の発売などは民間業者が行っていた。1974 年にジョッキークラブに場外馬券発売所を設置・電話投票制度も設け、クラブが馬券発売を開始した。最初、6 ヶ所だった発売所は現在 125 ヶ所にまで増えた。クラブは、収益の一部をチャリティーに寄贈するという非営利ビジネス・モデルのユニークな形態をとっている。過去 10 年間以上、クラブは毎年、何百ものチャリティーおよびコミュニティー・プロジェクトに平均 10 億香港ドルを寄贈している。

3. 跑馬地馬場(ハッピーヴァレー競馬場)について

ハッピーヴァレー競馬場は、香港初の競馬場として 1847 年に設立された。1995 年には、ハッピーヴァレー競馬場の全トラックが国際レベルへとアップグレードされた。ハッピーヴァレー競馬場には長さ約 35 メートル、高さ 8 メートルで、21 インチテレビを約 2000 個つなぎ合わせた大きさに匹敵する、アジアで最も大きな発光ダイオード・スクリーンがあり、観客は画面 でレースを観ることができるだけでなく、最新のオッズやレース情報を見ることができる。12 月には、インターナショナルジョッキーズチャンピオンシップが行われる。

4. 沙田馬場(シャティン競馬場)について

シャティン競馬場は、香港の 2 つ目の競馬場として 1978 年に設立された。1985 年には観客席を増設したことで収容人数は 7 万人に増えた。1988 年には、香港初の国際レースが開催された。現在は、シャティン競馬場が香港競馬のメインとなり香港の全重賞レース、世界の国際レースも数多く開催されており、中でも香港国際レースは世界の強豪馬も出走するなど、注目を浴びている。

5. インターナショナルジョッキーズチャンピオンシップについて

毎年、12 月にハッピーヴァレー競馬場で行われる、世界各国の一流ジョッキーが集まり、ジョッキーの腕を競い合うイベント。全 3 レースで、各レースの着順で獲得したポイントの合計によって優勝騎手を決める。ポイントはレースで 1 着～5 着の騎手に 1 着から、12・6・4・3・2 点となっている。過去には、世界的なトップジョッキーであるオリビエ・ペリエやランフランコ・デットーリなどが参戦、優勝している。日本からも毎年出場しており、2004 年には、武豊がフランスのクリストフ・スミヨンと共に優勝した。

6. 香港国際レースについて

毎年 12 月の第 2 週頃にシャティン競馬場で開催されるイベントで香港ジョッキークラブ主催の国際招待レース。東アジアで最も大きな規模の国際レースである。レースは、「香港スプリント(芝 1200m)」・「香港マイル(芝 1600m)」・「香港ヴァーズ(芝 2400m)」・メインレースの「香港カップ(芝 2000m)」の 4 つが行われる。日本は比較的距離が近く輸送の都合がいいことから、ほぼ毎年、日本調教馬が参戦している。「香港スプリント」以外の 3 レースは、過去に日本馬が勝利。2001 年には、「香港マイル」をエイシンプレストンが、「香港ヴァーズ」をステイゴールドが、「香港カップ」をアグネスデジタルが制し、4 レース

中 3 レースを日本馬が制覇し、日本馬の同一開催日 G I 3 連勝の快挙を成し遂げた。

7. 香港の有名馬について

・サイレントウィットネス（香港短距離レース 3 冠を 2 度達成し、2005 年にはデビューから 17 連勝の世界記録を樹立した。香港 G1 のチャンピオンズマイルで 18 連勝を目指したが、自身初の 1600m で初の敗北を喫し、連勝は途絶えた。日本の G1 スプリンターズステークスにも出走し、優勝した。）

・ケープオブグッドホープ（オーストラリアとイギリスの G1 を勝利し、国を問わない安定感を見せ、活躍した。）

・ブリッシュラック（マイルを主戦場とし、サイレントウィットネスの連勝を止めたチャンピオンズマイルや日本の G1 安田記念で優勝した。元は、イギリスの競馬場で走っていたが、成績が振るわなかったため、香港に渡り、能力が開花した。）

8. まとめ

香港の競馬は、初めて国内で競馬が行われた 1845 年から発展を続け、近年は世界からも注目を浴びるほどにもなった。香港国内でも人気 No.1 の観戦スポーツである。また、利益の一部をチャリティーに寄付するというギャンブルの枠を超えた活動も行っている。市場規模でも世界 3 位の大きさを誇る。世界と対等に戦える馬はなかなか出ないものの、近い将来には必ず世界レベルの馬が出てくるはず。今後も香港競馬は発展し続け、競馬界を盛り上げてくれるだろう。

参考文献

1. 香港ジョッキークラブ
http://www.hkjc.com/english/index.asp
2. シャティン競馬場
http://www.jair.jrao.ne.jp/japan/courses/kaigai/asia/hongkong/sha/index.html
3. ハッピーヴァレー競馬場
http://www.jair.jrao.ne.jp/japan/courses/kaigai/asia/hongkong/happi/index.html
4. 国際レース
http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%A6%99%E6%B8%AF%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E7%AB%B6%E8%B5%B0
5. 香港競馬
http://keiba.dazhao.net/
6. 日本と香港競馬
http://www.jra.go.jp/news/200711/113005.html
7. 香港の有名馬
http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B5%E3%82%A4%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%83%88%E3%82%A6%E3%82%A3%E3%83%83%E3%83%88%E3%83%8D%E3%82%B9

中国文化事情レポート課題　木曜日３限
担当教員　朱　新建

法学部法律学科１年　江口文菜

中国のテレビとラジオ

1.　はじめに

中国のテレビ局は、①中央政府、②省政府（自治区、直轄市を含む)、③市政府の各級の行政府に属しており、①中国中央電視台等、②３１の省級テレビ局、③約４００の市級テレビ局がある。
一番重要なテレビ局は中国中央電視台（CCTV）である。これには、以下の１６チャンネルもある。
①　総合、②経済、③音楽・芸能、④華僑向け国際、⑤スポーツ、⑥映画・文化、⑦青少年、軍事、農業、⑧ドラマ、⑨英語、⑩ニュース、⑪科学教育、⑫演劇、⑬社会、道徳、法律、⑭少年児童、⑮音楽、⑯スペイン語、フランス語。

これ以上に国レベルのテレビ局としては、教育部（日本の文部科学省に相当）に直属する教育テレビがある。以下の４つのチャンネルがある。①総合教育、②テレビ大学、③青少年向け、④試験的教科書による教育番組などである。

北京市には北京テレビがあるが、北京テレビには１０チャンネルもある。①総合、②文芸、③科学、④映画、ドラマ、⑤経済、⑥スポーツ、⑦生活、⑧青少年、⑨公共情報、⑩アニメ。

2.　日本と共通の番組について

これ以外に、北京でも、地方の沢山のテレビ局のテレビ放送を見ることができる。例えば湘南テレビによる、韓国ドラマ「大長今」(日本では「チャングムの誓い」)、日本の「おしん」が、北京も含めて全中国的に人気をよんでいる。

3.　収益について

CCTV は国家テレビ局であるが、コマーシャル収入を取っている。２００４年度の広告収入は８１億元（約１０５３億円）達し、その他の収入を合わせると収入は１００億元（約１３００億円）を上回るそうである。
CCTV は世界各地１５カ所に特派員を派遣している。東京にも特派員が常駐しており、日本関連のニュースを送っている。

CCTV での日本関連報道で最も重要なのは、やはり夜７時のニュース（「新聞連播」）で、日本がどう取り上げられるかである。この放送ぶりからは、中国当局の対日姿勢が窺われる。このニュース番組は、地方のテレビ局でも同時に放送される。視聴率は１６．６９％、市場占有率は３９．７９％とされる。
中国から海外へのテレビ放送は、①在外の中国人及び華僑に向けた中国語による放送（１９９２年～)、②英語による放送（２０００年～)、③フランス語とスペイン語による放送（２００４年～）の３種類である。現在はそれぞれが全世界をカバーしている。
いずれも国家ラジオテレビ総局（中国の中央政府の役所）の管理下で、CCTV が番組を制作、放送している。海外向け放送にどれだけの予算、人員が分かれているかの内訳は公表されていないが、たとえば英語チャンネルでは番組の作りが、英語圏の人に受けるような工夫が施してあり（つまり中国国内向けの番組を単に英訳したものではない)、かなりの予算、人員と手間を投入している。
中国のテレビ放送は、各地の送信所から電波を送りだす日本の地上波放送とは違い、衛星放送を各放送センターで受信し、サービスエリア内にケーブルを通して再送出する有線テレビ（ケーブルテレビ）方式となっている。料金は地方によって若干異なっているが上海では１ヵ月で１３元、半年払い（７８元）と１年払い（１５６元）が主である。
中国のテレビドラマには、清朝などの皇帝が主人公の歴史モノ、ワイヤーアクションが乱れ飛ぶ武侠小説モノ、戦前の上流階級を舞台とした国民モノ、若者の恋愛と葛藤を描いた現代モノ、警察や軍隊の活躍ぶりを描いた英雄モノなどがある。香港の警察モノや「韓流」の恋愛モノも少なくない。日本のドラマにも人気があり、最近では「白色巨塔（白い巨塔)」や「阿信（おしん)」が大ヒットしている。
中国新聞社の本社の北京にあり、主に海外の中国系の人たち、華僑、香港特別行政区、台湾同胞に向けて報道を行っている。

4.　ラジオ局について

ラジオ放送国営ラジオ放送局である中央人民ラジオ放送局は現在、７チャンネルで毎日計１００余りのスペシャル番組を放送している。全国の各省・自治区・直轄市などの地方行政区域には自らのラジオ

放送局があり、中央ラジオ放送局の番組を中継すると同時に地方色をもつ番組の放送も行っている。中国国際放送局は現在３８の外国語および漢語標準語と４種の方言で世界各地に番組を放送している。ニュース番組のほかに、４００余りのスペシャル番組がある。現在、中国国際放送局は放送時間の長さと放送言語の多いことによって、世界各国の中で３位にランクされている。

テレビ２０世紀８０年代から、中国のテレビ放送業の発展は全盛期に入った。ここ１０年間に、視聴者数は平均年間６１０万人のスピードで逓増している。中央テレビ局は強い力をもつ全国最大のテレビ局であり、同局は１３０余りの国・地域の２５０余りのテレビ局と業務提携を行っている。全国では、各省・自治区・直轄市と所属市、区、県に合わせて３０００ヶ所余りのテレビ局があり、これらのテレビ局は中央テレビ局および衛星通信ネットワークシステムと共同で世界最大のテレビ放送ネットを作っている。年１度の上海テレビ祭では、評定、受賞が行われるほか、テレビをめぐっての学術交流とテレビ番組の輸出入取引、国際ラジオ放送・テレビ放送設備展、技術交流会も行われている。上海はアジア最大のテレビ番組取引市場となっている。

5.　まとめ

中国はひろくてたくさんの言語があるからそれに対応させるためにこんなにも多くの言語で情報を送っていることに驚いた。そして日本で人気のドラマが中国で高視聴率を取った中国のドラマが日本で高視聴率をとっているということで国際交流してもいる。

参考文献

日刊ベリタ　中国のテレビ（１）
http://www.nikkanberita.com/read.cgi?id=200605141833140
・　愛知学院大学現代中国学部編　ハンドブック現代中国

木曜日３限　　「中国文化事情」レポート　　担当教員　朱新建
法学部現代社会法学科１年　岩附幸士

中国人民解放軍について

キーワード：陸軍　海軍　空軍　諜報活動

１．はじめに
中国人民解放軍とは中国共産党軍事委員会の指揮下にある中国共産党の軍事部門である。国家の軍隊ではないが、対外関係においては中華人民共和国の事実上の国軍として扱われている。1927 年 8 月 1 日に設立された。1946 年 6 月までは赤軍と呼ばれていた。名称は中国を侵略者や封建勢力から解放するという共産党結党時から抗日戦争当時の理念に基づいていつけられた。
　対日戦争を第二次国共合策によって乗り切り、第二次世界大戦終結後の 1947 年 9 月に「人民解放軍総反抗宣言」を発表して初めて人民解放軍の名を使用した。国共内戦により国民党勢力を大陸から台湾へ広げた。これらの戦いで功績のあった軍の長老が長く君臨し、今の政治人脈に引き継ぐ事となった。

２．陸軍

兵力 160 万人、近代化のために兵力が減ってきており、最新鋭戦車の生産数よりも旧式の 59 式戦車などの退役数が上回っている。兵役は志願兵制にしている。法律では不足に応じて、選抜徴兵制を実施することになっているが、不足した事は今まで一度もない。 全体として近代化を進めつつある。陸軍は地域別の軍区に区分されているが、軍近代化により多くの軍区が削除され、現在は七大軍区制となっている。軍区司令官は所属の空軍、それか海軍に指揮権を持っている。［下の図は陸軍を地域別に表したもの］

３．海軍
海軍は 194９年 4 月 23 日に設立された。兵力約 26 万人、そのうち海軍航空部隊約 35000 人、沿岸警備隊約 25000 人、海兵隊約 1 万人がいる。また駆逐艦 29 隻、フリゲート 45 隻、弾道ミサイル搭載原子力潜水艦 2 隻、攻撃型原子力潜水艦を 4 隻(稼働するのは 2 隻のみ)商型原子力潜水艦を 2 隻、通常型潜水艦 61 隻をもっている。また、海軍航空隊は、7 個海航師、7 個独立飛行団から成り、各種軍用機 620 機を持っている。沿岸防衛部隊として、35 個岸防導弾砲兵団（海岸防衛ミサイル砲兵団。65300 人）が存在している。
　当初はソ連から艦艇や技術を導入していたが、1960 年以降の中ソ対立によって新技術の提供がうちきられた。それからは中国独自で駆逐艦などを開発したが技術的に当時の一級品とはいえなかった。現在はロシアとの関係改善や中国の経済発展を背景にロシアから駆逐艦などを購入したほか、ヨーロッパやロシアの技術を導入した国産駆逐艦の開発を進めていて戦力の質的向上を図っている。

４．空軍
1949 年 11 月 12 日に設立された。総兵力 38 万人。作戦機約 2000 機。このうち、数における主力は、中国がＭｉｇ－２１を国産化した J－7、およびこれをベースに開発した拡大改良版の J－８Ⅰ、両側吸気の J－８Ⅱであるが、これらの機体は元の設計が古く、能力的には限定されたものと考えられている。そして旧式のＭｉｇ－１９の国産型Ｊ－６はもう使われてないが、無人攻撃機に改造する計画も立てられている。
空軍も海軍と同じくソ連から技術の提供などをしてもらっていたが、中ソ対立で新技術の提供などが打ち切られ独自の開発に力を入れた。現在はロシアとの関係も改善し中国の経済発展もありロシア製の戦闘機Ｓｕ－２７やＳｕ－３０のライセンス生産などに力を入れ質的向上を図っている。

[写真左は中国が独自で開発した漢級原子力潜水艦で右はロシア製の戦闘機Ｓｕ－２７]

５．諜報活動
諜報活動とはスパイ活動のことである。人民解放軍は友好国にたいしてもスパイ活動を行っているようだ。普通スパイ活動と言うくらいだからスパイ活動の事実を認めることは性格上ありえないが、時々、各国によって人民解放軍の活動であると認められる場合があるようだ。
下記は Wikipedia というサイトにのっていた人民解放軍が行ったと思われる活動の一例である。
・ 2007 年、ドイツ首相府、経済省、外務省、教育研究省へのサイバー攻撃
・ 2007 年 6 月、アメリカ国防総省にあるロバート･ゲーツ国防長官のコンピューター・システムへの不正侵入
・ 2007 年、イギリス外務省ら複数の政府機関へ不正侵入の可能性

６．まとめ
今回私は中国文化事情の授業で中国人民解放軍を調べたことによってはじめてこの存在をしりました。今まで一度もこの名前を聞いたことがありませんでした。調べていくうちに分かったことや思ったことがいくつかありました。
　まず私の勝手なイメージで中国は最近すごい勢いで経済発展が進んでいるけどまだまだ世界基準には届いていないようなイメージがありました。しかし人民解放軍の戦闘機や戦車、ミサイルなどはとてもレベルの高いものだということを知りました。その一方で軍事系のもはロシアとの協力のもとで作られているものが多いということも分かりました。そして軍事力の向上の背景にはやはり中国の高度経済成長があるようでした。
　そして驚いたこともありました。それは中国の陸軍が志願制ということです。法律では志願者が足りない時は徴兵制を実施するということでしたが一度も徴兵制を実施したことがないということでした。中国の人は日本よりも愛国心が強いと思いました。
　そして中国人民解放軍を調べていて気になったのは諜報活動のことでした。私は諜報活動のことを詳しく調べました。いろんなサイトをみて「３．諜報活動」でのスパイ活動の例をあげましたが人民解放軍がやったことだと断定しているサイトはほとんどありませんでした。しかし各国によっては人民解放軍が行った諜報活動と認めた事もあったそうです。
　私はいずれ中国が世界の中心になるとおもっています。今回中国人民解放軍というテーマだけで調べましたがそれだけでも中国の経済発展はすごいと思わされました。きっとこれからは中国との輸出入や取引が世界規模で増えると思います。そのためにも中国の文化や中国の現代を知ることはとても大切なことだと思いました。
『参考文献』
1.愛知大学現代中国学部編、2006.4、『現代中国　第二版』、あるむ
２．世界は「中国」の庭先　http://specialnotes.blog77.fc2.com/blog-entry-945.html
３．中国人民解放軍－Wikipedia
2http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%AD%E5%9B%BD%E4%BA%BA%E6%B0%91%E8%A7%A3%E6%94%BE%E8%BB%8D

木曜日　三限　「中国文化事情」レポート　担当教員　朱新建
法学部法学科１年　07J028　犬飼　広夢

環境問題と中国

キーワード：中国環境　北京オリンピック　環境汚染

１　はじめに

１９７２年国連で先進国の経済開発が多くの公害をもたらし、環境問題が認識され途上国も含め、中国も前年に国連に加盟したことが注目され、日米などの先進国が抱える環境を汚染の悲惨さを知り、自国の汚染に目を向け始める有様だった。７３年中国は第１回全国環境保護会議を開催するが、そこで問題も国内の汚染状況の把握し、その後の取り組みも先進国の政策に基ずいてすすめられた。中国で国連で環境計画が設置され、海洋汚染防止条約など次々に締結されたが中国は受け身の姿勢の留まった。９２年、リオ・デ・ジャネイロで国連環境開発会議が開催され、気候変動枠組み条約と生物多様性条約が署名され、持続可能な開発のための行動計画が採択された。

のちの９７年に地球温暖化に関する京都議定書が採択されるが、この過程でも中国は積極的な役割を演じてはいなかった。

２中国環境について

現在の中国環境では今中国政府が約 7 億 3700 万元ももの資産を使い環境汚染源調査にのりだしている。そのうちの 4 億 5100 万元を中央部門にその他の政府に 2 億 8600 万元を投じている。2007 年末まで調査の査定法や調査員の育成をやっているが今年度二月から本格的の調査や企業の申告、管理機構の審査などに乗り出し 2009 年上期にはデータの完成を目指している。このときのテレビ電話会議で出席した曽培炎副首相は、「汚染源調査の目的は利用にある。調査データの整理、分析研究を通じて、有効な政策を制定し、現在突出している環境汚染問題を解決しなければならない」と話している。これから中国政府は汚染結果に基づき今後の環境対策を打ち出す方針で今より厳しい対策が講じられそうだ。

３北京オリンピック

今年 8 月に行われる北京オリンピックにおいて今の中国環境について問題視されている。イギリスなどは北京の大気汚染が選手へ悪影響を及ぼすことを懸念し大阪で調整することを決めていたり、約 20 カ国が日本での最終調整を希望したりドイツの週刊誌では、屋外競技では健康被害を受け特にマラソンでは世界記録は出ないと報道したオーストラリアのオリンピック委員会は、北京の大気汚染に対する懸念により同国の選手に対してぎりぎりまで現地入りしないようアドバイスをしたりしている。申告な問題を抱えている。

北京オリンピックの重要なテーマであるエコロジーで環境をよくするためレンタル自転車の貸し借りができるようになり環境にやさしい移動が可能になってきた。エコ五輪は政府が提唱する理念の１つで実現するには市民全員の参加が必要であるため奇数番号の車を一日通行できなくし、ピーク時に通行台数を減らすなどこのような対策が採られている。

４環境汚染について

中国では今水質汚染に苦しめられている。中国７大河川（長江･黄河･珠江･松花江･海河･遼河・淮河）の水質は、2002 年には 29%まで悪化していた。しかし翌 2003 年には 38%まで改善されている。その中で海河、遼河、黄河、淮河は年々水量が減少していて有機物や重金属類などが多く流れてきていて問題が深刻化しつつある。地下水もまた全土にわったって水位が減ってきている。華北、華東、東北地域などは工業かが進みつつあるため人口密度の増加に伴い汚染が急速にすすみつつある。

上海などでは窒素やリン油類の増加で赤潮回数が増え漁業が影響を受けるのではないか心配されている。排水量も近年の中国経済成長に伴い増加の一歩を辿っている。2003 年には生活排水の増加が工業排水の二倍以上に膨れ上がっている。それに合わして水質汚染の原因の COD（水中に含まれる有機物の量）をみても工業排水は減少する一方で生活排水は 5%づつ毎年増加の傾向がある。その原因は都市生活の標準があがっていくことによる生活排水が次第に水の汚染につながり問題の比重を高めているといえる。

まとめ

なぜこの項目に注目したかというとテレビのニュースで北京オリンピックの特集をやっていて中国の

空気がどれだけ汚いかを実験していてとても興味深い結果だった。　中国は今や世界を代表するような国になりつつあるがそれに伴って環境問題が深刻てきな問題になりつつあるこれをきに中国環境を調べてみて改めてどのくらいおおきな問題なのかがよくわかった。北京オリンピックでは、１０億の人口がいる中でさらに世界中から人々がたくさん集まってくるのでまた多くの大気が汚されることになるそこで中国は電気バスなどあまり大気を汚さない電気に着目したり他の国の環境対策がなされているバスや車をとりいれ頑張っている。これからは中国は世界の中の先進国になると思われるが、このままでは今の中国は環境が悪い国になってしまうので世界中が協力し改善をめざしていくべきだと思う。そしてこれをきに日本も隣の国の中国と協力し手を取り合っていき、日本、中国のみ成らずアジア諸国環境の底あげを目指していくことが経済などをあげていく力になると自分は思う。

あと折角こういうことを調べたのだからこれのみにならず他の事も調べいきいろいろな中国のことをはじめ日本のことも調べていきたいと思う。

１　愛知大学現代中国学部編、2006.4、『現代中国　第二版』、あるむ

２　中国環境問題と現状
http://www.newschina.jp/news/category_1/child_5/item_8472.html
３　wiki
http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%97%E4%BA%AC%E3%82%AA%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%83%E3%82%AF#.E7.92.B0.E5.A2.83.E5.95.8F.E9.A1.8C
４　2008 年北京のオリンピック
http://2008.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2007&d=1009&f=national_1009_001.shtml
５中国の環境問題の現状と対策案
http://www.smrj.go.jp/keiei/kokurepo/kaigai/backnumber/005217.html

木曜日３限　「中国文化事情」レポート　担当教員　朱新建
法学部現代社会法学科１年　佐野禎昂

経済成長と環境問題
－環境問題を中心に

キーワード：　河川の断流　　砂漠化　　大気汚染

１．はじめに

中国は１９７８年に「改革開放」政策を採用して高度経済成長期に入っていった。外国の資本や技術の導入が認められている特別な地域である「経済特区」が設置され、工業、商業、金融業などが進出と発展をしていった。この経済特区では税金を安くするなどの試みがされており、そのため外国の企業が多数進出してきたのである。１９８４年には「経済技術開発区」という経済特区のように外資の技術を導入するための都市も現れ、そこでも外資にとって様々な優遇措置がとられている。

近年ＧＤＰ平均１０％前後（２００４以降は毎年１０％以上）の成長率を維持し続けている中国、外国企業の取り入れと技術の導入と吸収によってその経済力は上昇し続けている。その成果なのか首都である北京や「経済特区」、「経済技術開発区」では高層ビルがその象徴のようにそびえ立っている光景が見られる。２０３０年にはアメリカを抜いて世界第１位になることを目標としている。中国の経済成長の背景には安い労働力を生かして、安価に製品を生産できることの他、日本の公共投資や設備投資にあたる「固定資産投資」の増加や輸出の増大と消費の振興などが挙げられる。

こういった今も維持している経済発展の中で、問題として上がってきたものがある。それが環境問題である。環境破壊は経済成長と密接に関係を持ち、環境を守るためにはある程度発展に影響を与える。中国でも２００２年５月国家環境保護総局が発表した「中国環境状況広報」でも環境の汚染と破壊は依然楽観できないとしている。河川の断流、国土の砂漠化、大気汚染などが挙げられる。

２．河川の断流について

河川の断流については、黄河を例として見てみる。黄河は１９７２年～１９８８年の間に２１回も断流が発生したという。さらに１９９０年代にはほぼ毎年断流が発生していた。特に１９８７年には１３回もの断流がおき、合計で２２６回の断流日数と７０４ｋｍもの距離が水のない状態であり、黄河の下流域約９０％近くが断流していた。この影響で下流域では土砂が川の左右にたまり水害の危険性が高まり、１９９６年にはこれまでの水害の中で一番被害の大きい水害が発生した。ほかにも河口の地下水盆に淡水が補給できなくなり、地下水盆への海水の進入速度及びその規模が大きくなり湿地の水環境が狂いだし、そこに住む水生生物たちに多大な影響を与えるといわれている。それだけでなく黄河の水を利用している都市、農村にも影響している。都市では生活用水が足りなくなり、農村部には灌漑ができずに生産量が落ちるという事態も起きている。断流の原因としては降雨量の減少が挙げられ、その他には灌漑用水や工業用水への使用、それに伴う土壌流出防止の保全事業や貯蔵ダムの建造などによる水の使用量が供給可能流域を上回ったことにある。

３．砂漠化について

砂漠化としては内モンゴルなどが挙げられる。内モンゴル自治区では草原の面積が１９６０年の８２万ｋ㎡から１９９９年にはそれから約４４万ｋ㎡も減少した。要因としては草原の表面の草が剥がれ、その下にある砂の層が強風に砂が流されることによって起こる自然的なものと社会的なものがある。社会的なものに、内モンゴルへの漢民族の移住によって増えた人口、社会の変化によって変わっていった生活によってその土地のもともとある再生能力を超えるようになったことなどがある。実際自然保護区などではまだ豊かな自然が残されており、過剰な放牧など人為的な影響で砂漠化は広がっている。現在内モンゴルの砂漠化に対して、緑化を試みる動きもある。

４．大気汚染について

大気汚染は経済発展に伴った外国メーカーの進出や自国の経済成長の中でエネルギー消費量の増加がある。なぜエネルギーの増加が大気汚染に関係があるのか、それは中国のエネルギー消費の中で大部分が石炭であることにある。これには中国は石油が外貨獲得のための手段だった（１９９３年には輸出国から輸入国に変わっていった）こと、そして石炭が豊富にあることにある。中国の石炭は硫黄含有量が多く燃焼効率が悪い、その石炭の影響で山村部ではフッ素症や砒素中毒で苦しんでいる者がいる。都心部では自動車の排ガスなども加わって酸性雨や大気汚染を発生させているのである。北京では晴れていてもスモッグで景色が煙っていてぼやけている。それだけでなく都心に住む人々にもその煙での健康への心配も懸念されている。２００８年には北京五輪が開催されるが、それまでには煙を晴らしきれいな青空にするとして奮闘中している。

５．まとめ

北京五輪に向けての公害に対する取り組みは他にも多々ある。ナンバープレートの番号でその日走行できる車の管理、町並みのごみの減少などが挙げられる。これは主に町の美化や交通整理のための政策だが、間

接的に車の排気ガスを押さえ空気の汚れを抑えること、ごみから出る悪臭やごみによる河川の汚染などを抑えられるのだ。こういった民間の協力も公害に対して大切なもので、民間の協力なくして公害は乗り越えられないものだとも言える。

中国では１９７３年に第１回全国環境保護会議を開催するなど環境問題に対して早くから認識していた。企業には工場建設の際、汚染防止設備の工事に設計、施工、操業をして確認する“三同時”。廃水、廃ガス、廃棄物に関する“三廃”の総合的な利用を掲げた。２００１年の第１０次５か年計画では「持続可能な発展」の考えが広まり、経済成長と環境維持との両立が強調されるようになった。しかし環境投資の比率はＧＤＰの１％以下と低い。公害に対して中国は今熱心に取り組んでいる。中国はこの公害というものに対して立ち向かうにあたって有利な点がある。それは欧米諸国や日本という深刻な公害を解決していった前例を教訓に取り組んでいけることである。これから先環境と経済はますます密接になってくる、特に近年の世界が中国に向けている注目は高い。この経済発展が今なお続く中国がさらに豊かになるには、環境を大事にするという姿勢も重要なものになってくるだろうと考える。

参考文献

1.愛知大学現代中国学部編、２００３．１０、『ハンドブック　現代中国』、あるむ
インターネット
１．　http://www.brics-jp.com/china/gdp.html　BRICs 辞典　中国の実質経済成長率(GDP 成長率)推移
２．　http://www.foejapan.org/desert/area/index.html　中国砂漠緑化プロジェクト　草原の砂漠化
３．http://ban.econ.Osaka-u.ac.jp/kban/seminar/report_2001/china-env_2001.pdf　２００１年度研究セミナー最終報告　中華人民共和国の環境問題
４．　http://www.katz-china.com/china_eco_grow.htm　中国株投資実践記録　中国の経済成長
５．　http://www-cger.nies.go.jp/lugec/Survey99/Report99Survey.htm　黄河断流の原因と対策

木曜日３限　「中国文化事情」レポート　担当教員　朱新建
法学部現代社会法学科１年　北村結

中国と日本の結婚について

キーワード：　結婚　法定年齢　結婚適齢期

1. はじめに

ほとんどの国で、制度は違っても必ずと言っていいほど存在する「結婚」というもの。冠婚葬祭というものは、その国々の殆どの人間に関わりのあるものなので、文化や習慣、考え方を比べる上で大切なものではないのかと考えたので調べてみることにした。

2. 結婚について

日本では結婚という言葉は、明治時代に作られた。普段の生活で私たちが使う意味は成人男女が夫婦になることを指しているが、英語の marry を翻訳する際に対訳語となる日本語がなかったために作られた、と考えられる。

広辞苑には「婚姻」の定義を、「結婚すること」とした上で、「夫婦間の継続的な性的結合を基礎とした社会的経済的結合で、その間に生まれた子が嫡出子として認められる」と書かれている。そして、日本においては婚姻届を出し戸籍に記載される婚姻を結婚と定義した。定義の根底にあるのは「契約」の概念である。生まれたら自動的に関係付けが発生し、原則的に一生の間普遍である親子関係をタテの関係と呼び、一般的に血縁関係のない男女が契約によって結びつくので、それをヨコの関係と呼ぶ。したがって、契約(結婚)の解消というものがあり、これを離婚という。しかし、現在においては一部の国または地域において、男性同士や女性同士の同性結婚が法的に認められているので、一概に男女間で結ばれる契約とは呼べなくなっている。

3. 中国での結婚

中国では 1950 年に成立した婚姻法で、婚姻の自由や一夫一妻制、男女平等を明記し、自由な恋愛による婚姻が次第に普及した。また 80 年に婚姻法人口抑制の為には改正され、法定年齢を男性 22 歳、女性 20 歳に引き上げた。そして、「晩婚晩育」(結婚年齢をさらに 3 年遅らせ、女性は 24 歳すぎに第一子を産む)と「一人っ子政策」(農村、少数民族は二子)を推奨するようになった。

農村では 90 年代初期まで早婚や男子偏重、「黒孩子」(戸籍を持たない子供 / 闇っ子)も少なくなかったが、罰金が高額となり、教育や生活水準の向上によって意識がかわり、今年ではほぼ遵守されている。その水準向上によって、農村は過疎化が進み、深刻な嫁不足であるという。この問題を題材とした「盲山」という李楊監督による映画がある。わたしは観ていないが、中国国内版と海外版とで内容に修正が加わるほどの話だという。貧困に追いつめられた環境では、結婚に自由などなくなってしまうのだろう。

4. 日本での結婚

日本の民法は、婚姻成立には法律上の手続きを要求する法律婚主義を採用している。婚姻適齢は男性 18 歳以上、女性 16 歳以上である。ただし、未成年の結婚には片親(もしくは成人しているその代理人)の承諾が必要になる。親が一度承諾したら、未成年であっても再婚時の承諾は必要がない。しかし、未成年者(婚姻適正年齢外)であるからといって、結婚を約束(婚約)は無効にはならないという判例もあるため、高校生同士が結婚の約束をしていたことが証明されるにいたった場合には法的効力をもつ婚約とみなされるのである。

近年、日本は平均結婚年齢が年々上昇し、未婚率も上昇しており、非婚化・晩婚化が進んでいる。要因として、一般的には女性の高学歴化や社会進出(賃金労働者化)などが言われているが、現在の経済格差も大きく影響していると考えられる。

日本の正式婚の数は 1978 年以降、現在に至るまで年間 70 万件台を維持しているという。

5. 結婚へ対する意識

日本ではバブル期に「三高」という言葉が話題となった。1990 年代までは話題に上がったが、近年聞くことはほとんどない。「三高」とは日本の未婚女性の理想の結婚相手の条件のことである。「学歴が高い」、「収入が高い」、「背が高い」の三つである。が、実際のところ女性たちはもっと現実的で自分が満足したところで良しとする。待っていても「三高」の人物と出会えるかはわからないからだ。

中国の結婚適齢期の女性と日本の結婚適齢期の女性を比較すると、中国の女性は意志が強く、「長城に至らずんば好漢にあらず」という精神があり、最後まで理想を諦めることが少ない。中国大陸の意識調査でも、「売れ残りになっても、配偶者に対する基準は下げない」という回答が多いらしい。

これに対して日本の女性は、最後までこだわり続けるほど意志が強くない。日本は古来から中国以上に男性優位の社会であり、女性の男性に対する依存心が強い。そのために、適齢期がくると周囲に急かされ己も焦り、適当な結婚相手を見つけて嫁になる。女らしく家庭で暮らしていければそれで良いと思う女性も少なくないという。

6. まとめ

今回は伝統的な婚礼の仕方など、儀礼的なことは外して調べた。そうすると「結婚」というものの華やかさが霞んでしまったように感じた。昔の日本では妻は夫の影すら踏まないものとされていたと聞く。自分現代社会を生きていて、性別も女であるだけに、男性優位の思想によって現在も残っている考え方で理解できないものが数多くある。国は少子高齢化の進行を防ぐために出産を推しているが、日本の女性が産休をとった場合、仕事に戻り難い現実がある。中国の女性は産休の後、仕事に戻ることが当然であり、世間もそう考えている。日本が本当の意味で男女平等になる日は、まだ来ないように感じた。

今回のレポートを書きながら自分の将来を考えてみたが、今のところ結婚願望はないので中国の女性のように強く逞しく、妥協することない精神を持ちたいと思う。日本の女性が男性への依存心を失くすことは、国家政策と同じく男女平等へと続く道になのだろう。

参考文献

1.愛知大学現代中国学部編、2006.4、『現代中国　第二版』、あるむ
2.中日文化意識比較研究 / http://tyuugoku.livedoor.biz/
3.Wikipedia / http://ja.wikipedia.org/wiki/

木曜日　３限　中国文化事情「現代中国事情」レポート　担当教員　朱新建
法学部法律学科　１年　高和　希

香港について

キーワード：　文化　料理　観光地

１．はじめに
香港の正式名称は「中華人民共和国香港特別行政区」である。古くから東南アジアにおける交通の要所であり、また、自由港であることからイギリスの植民地時代から金融や流通の要所でもある。そして、ショッピングや食通の街として栄えているということもあり、世界中から観光客が訪れる。超高層ビルが立ち並ぶ近代的な街並みだけでなく、離島や丘陵地帯などの自然に触れられる場所などの様々な名所が、領地が狭いために隣接しているのが特徴である。

２．文化
映画産業がイギリス植民地時代から盛んであり、ゴールデン・ハーベストなどの大手映画制作会社の本拠地があるなど、中国語圏における映画産業の一大拠点として君臨しているだけでなく、日本や韓国と並び、アジアの映画残業における中心の一つとなっている。また、１９６０年代から現在に至るまで、ブルース・リーやジャッキー・チェン、サモ・ハン・キンポー、チョウ・ユンファなど数多くの世界的に有名な映画スターを生み出してきているほか、ウォン・カーワァイ、ジョン・ウー、レナード・ホーなどの世界的に有名な映画監督をしていることでも、その存在感は非常に高い。
音楽では、台湾に並ぶ中国語、広東語圏内のポピュラー音楽の流行発信地の一つとして、アジア圏内で人気が高い多くの歌手を多数輩出している。なお、アメリカやイギリスのポピュラー音楽の人気も高いが、平井堅や浜崎あゆみなどの日本人歌手、アーティストも安定した人気を保っており、CD ショップには J-POP のコーナーもある。
香港は東京と並ぶアジアにおけるファッションの発信地として君臨しており、上海灘、ジョルダーノ、ジョイスなどの有名ブランドやセレクトショップの他、アラン・チャンやジョアンナ・ホーなどの世界的に著名なデザイナーやクリエーターを多数輩出している。地元デザイナーやブランドが多数いる上、中華人民共和国本土やアジア諸国など広大なマーケットを持つことから、香港ファッションウイークや香港国際毛皮時装展覧会などのファッション関連のフェアやトレードショーなども定期的に行われている。

３.食文化
広東、潮州、四川、上海、北京、台湾、マカオなどをはじめとする中華料理店が香港中にある他、飲茶の本場として知られており、これらの料理を楽しむために訪れる観光客も多い。イギリス植民地時代の影響から食文化も欧米化されており、イタリア料理やフランス料理、ドイツ料理などの洋食の人気も高い。また、比較的古くから日本料理も高い人気を保っており、在留邦人向けでなく、地元住民を主なターゲットとした寿司屋やラーメン店、居酒屋なども多い。他にも、家政婦や警備員、IT 関連の職種に従事するためフィリピンやインドネシア、インド、タイなどからやってきている人々も多く、これらの国の料理を中心としたエスニック料理店も多く、輸入食材を扱う店のあちこちにある。また、日本の菓子の人気の高く、コンビニエンスストアやスーパーマーケットでは「コアラのマーチ」や「ポッキー」、「かっぱえびせん」などの日本直輸入や現地生産の日本ブランドが多く見かけられる上、日本語表記の菓子チェーン店も存在する。

４.観光地
香港は観光地として非常に人気がある。日本から近いうえ、観光資源が豊富なことから、１９７０年代の海外旅行ブームの時より日本人の間で人気の旅行先としての地位を保っている。古くから「１００万ドルの夜景」の異名を持つほど夜景が美しいことは世界的に有名であり、特に香港島のビクトリア・ピークからの夜景や、ビクトリア・ハーバーにウォーターフロント・プロムナード近辺から観る香港島の夜景は壮観であるという。１２月のクリスマスシーズンから旧正月にかけては、ビクトリア・ハーバー沿いに建つビルに特別のイルミネーションが施される。この素晴らしい夜景を観るために足を運ぶ人も少なくないであろう。繁華街には大規模なショッピングモールや様々なジャンルのレストラン、高級ブランドのブティックやエステサロンが立ち並ぶ等、最先端の文化を感じることができる一方で、郊外へ行くと昔ながらの風景を楽しむことができる他、自然が多く残されており、ハイキングなどを楽しむこともできる。また、２００５年９月には新たな名所として香港ディズニーランドがオープンした。
それに対し近年は日本が香港市民の人気の旅行先として定着しており、当初は東京を主な旅行先とするケ

ースが多かったものの、近年は東北地方の温泉地巡りや、北海道でのスキー、大阪や九州のテーマパークなど、その目的地が日本全国へと広がっており、香港市民の日本に対する関心の幅広さが窺われる。

３.まとめ

　様々な魅力を持つ香港。世界中の文化が集結している中で進化し続けている都市であり、先生からお話を聞いたり、自分で調べていく中で非常にエネルギッシュ、かつ魅力的な都市であるという印象を持った。日本との交流も盛んであることから、今後益々、身近な存在として歴史、文化についても更に学んでいきたい。

　参考文献

『ハンドブック現代中国　第二版』
『日中報道　回想の三十五年』　著　吉田　実

木曜３限　「中国文化事情」レポート
法学部　法律学科　07J108　小西雄太　担当教員　朱新建

清王朝最後の皇帝溥儀について

キーワード：　溥儀　満州国　皇帝　日本

1 はじめに

私は、清王朝最後の皇帝であり、満州国の皇帝になり、最後は一市民として生涯を終えた、愛親覚羅溥儀の生涯について興味をもち調べてみた。溥儀は世界で唯一、二つの国の皇帝となったことで有名だが、その人生はとても波乱万丈していたのであった。溥儀は 1906 年 2 月 7 日に第 11 代皇帝光緒帝の弟である醇親王載灃の子として北京で生まれた。1908 年当時強いをもっていた西太后が周囲の反対を押し切り自らが推薦することにより、溥儀はわずか３歳という幼い年齢で皇帝に即位させられて、清朝の宣統帝となったのであった。しかしこの当時、清王朝には昔のような力はなく衰退しきっており、1911 年の辛亥革命により袁世凱を大総統とする共和国家の中華民国が設立されたために、1912 年溥儀は皇帝の位を退位し、12 代 296 年続いた清王朝は滅亡したのである。しかし皇帝を退位し、清王朝が滅んだにもかかわらず、袁世凱との間に交わした「清帝退位優待条件」により生活を保障されており、さらに大清皇帝の尊号を名乗ることになり、引き続き紫禁城で生活することをゆるされたのである。このような生活が 10 年近く続いたのである。紫禁城での溥儀の生活について調べてみると、彼は、イギリスの拓務省の役人のレジナルド・ジョンストンを家庭教師として西洋風教育や英語の教育を受けていたのである。ちなみにこの頃、溥儀はヘンリーというクリスチャンネームを与えられていた。このころの紫禁城の経済状況については、経費削減のために臣官の汚職を一掃するために一斉に解雇したりして紫禁城の近代化を図っていたのである。またこの時代は清王朝の歴代の宝物の盗難などが相次いだようだ。1922 年、溥儀は紫禁城内で、正室の婉容と側室の文繍と同時に結婚したのである。しかし 1931 年に文繍とは離婚してしまい、溥儀は中国の皇帝で初めて離婚歴をもつ者となった。

2　紫禁城追放

1924 年馮玉祥がおこしたクーデターにより紫禁城を追い出されてしまい『清帝辞位後の優待に関する条件』 の破棄通告され溥儀は今日より皇帝ではなく、中華民国の一般国民の身分となり、従来中華民国から支給されていたは年 450 万元は 50 元に下げられたのである。しかも紫禁城を退城するのに与えられた時間はわずかなものだった。いきなりのクーデターにより紫禁城を追われた溥儀たちは、天津の日本租界の日本の公館の庇護を受けて生活することになった。これを機に中国進出を狙っていた、日本陸軍（関東軍）との密接な関係を持ち始めたのである。このことが満州国建国へと繋がっていったのである。

3　満州国建国

そして 1931 年満州事変により、関東軍が全満州地域を占領し、日本の力の及ぶ、傀儡国家を樹立させようと考えた。そして満州国の執政として満州民族である溥儀を説得し就任させた。そして新京に首都をおき、1932 年満州国は建国された。1934 年満州国は正式国名を満州帝国とし元号も康徳とし、溥儀が当初望んでいた帝政が置かれたのである。溥儀は満州帝国皇帝となり名も康徳帝と名乗ったのである。これにより溥儀は世界で初めて 2 つの国の皇帝となったのである。しかしこの政権は、皇帝は形だけで、権力などの実権は日本軍（関東軍）が握っており傀儡政権であった。溥儀は清王朝のような政権を望んでいたと思うので、溥儀の望んでいた政権とは違ったのである。また溥儀と日本との繋がりについては弟の溥傑が日本の華族であり天皇家ともつながりの深い、嵯峨家の嵯峨浩と結婚したり、また 1935f 年には昭和天皇の招待により日本を公式訪問するなどしており、密接な関係がもたれていた。しかしその一方では関東軍による、暗殺を常にお恐れていたのである。1941 年、日本が太平洋戦争に突入するものの満州国は、隣国のソビエトとは日ソ中

立条約やアメリカ軍などとは離れていることにより平静が続いた。しかし波乱の波は満州国にもおしよせてきたのである。1945 年 8 月 8 日、ヤルタ会談での密約により、ソ連が日ソ中立条約を破棄してきたのである。この条約について調べてみると約 1 年期間が残っていたのである。しかしソ連の考えをみてみると、どちらにしろ、この条約の延長はするつもりはなかったのである。この条約の破棄により、ソ連軍は満州に進軍した。これにより溥儀の人生はさらに時代の波にもまれていくのである。ソ連軍は 170 万人もの大軍を動員したのである。これに対する満州を防衛する関東軍の軍勢は根こそぎ動員を行い 74 万人で（在郷軍は 25 万）訓練もされておらず武器もない状態であった。過去に精強百万関東軍といわれた面影はなかったのである。ちなみに満州国にいた 100 万人近くの関東軍の多くは日本の戦況悪化により多くが南方へいったのである。一方溥儀たちの動向をみると、ソ連の進軍により首都の新京を放棄して、通貨省臨江件の大栗子に非難しており、1945 年 8 月 15 日の日本の終戦に伴い、2 日後に国務院が満州国解体を決定。そして 8 月 18 日に大栗子で満州国解体を溥儀自らが宣言して、満州国皇帝を退位した。わずか 13 年という短い期間の国であった。ここからまた溥儀の人生は大きく揺れ動くのである。

4　満州国崩壊～その後の溥儀

退位後溥儀は、ソ連軍に捕まり、チタとハバロフスクの強制収容所に収監されたのである。そして 1946 年の極東国際軍事裁判ではソ連により証人として出廷させられたのである。法廷では溥儀は興奮することが多く、また満州国の皇帝として責任を負うことを一切拒んだのである。ソ連の意の汲んだ責任回避と自己弁護に終始する溥儀の証言内容は厳しく追及された。結局、溥儀の信憑性の薄い証言は、判決文で引用されることはなかった。ちなみにこの裁判において検察から直接尋問を受けた証人は溥儀にのみであった。その後溥儀は、中華人民共和国に、移され、戦犯んとしてハルビンの政治収容所に溥傑とともに収監されたのである。収容所内では溥儀の家族や家臣がいたのですが彼らとの関係は昔のような主従ではなく対等な関係になっており、溥儀は身の周りのことすら一人ではできなかったのである。生まれが生まれであり育ちが育ちであったので苦労したと思った。過去に溥儀は、溥儀自身の生活を言葉で総括できたと語っていたこともあった。1959 年に戦争犯罪人の特赦令をうけて模範囚としてと特赦された。釈放後は北京植物園や北京史料科研究委員会に勤務。そして時の首相、周恩来首相の後援により 1964 年、中国人民政治協商会議全国委員会んみ選ばれた。そして溥儀は 1967 年、一市民として、波乱万丈な人生を終えたのである。

5　まとめ

常に時代と隣合わせに生き、そして時代の波に揉まれ、最後は一市民として亡くなった彼の人生とは、我々が想像もできないくらい大変なものであったと思った。

参考文献

1.愛知大学現代中国学部編、2006.4、『現代中国　第二版』、あるむ
2.愛新覚羅溥儀　1977 年　『わが半生～「満州国皇帝の自伝」「上」、「下」』 筑摩書房）
3. http://www9.wind.ne.jp/fujin/rekisi/china/karyu/karyu.htm　火龍（愛新覚羅溥儀）

木曜日３限　「中国文化事情」レポート　担当教員　朱新建
法学部法学科１年　石川　智大

中国の環境問題について

キーワード：　中国の現状　政策の歴史　これからの中国

1. はじめに

　中国は今、世界で最も注目されている経済大国です。その理由は近年の中国の急速な持続的経済成長です。もはや、戦後、目覚ましい経済成長を遂げた日本すら追い越す勢いです。しかし、そんな経済成長の影で成長を妨げる問題も浮かび上がりつつあります。
その１つに環境問題が挙げられます。環境問題はいまや一国の問題ではなく、地球全体を視野に入れられた大きな国際問題となっています。急速な経済成長をしている中国も他の経済大国と同様に深刻な環境問題を抱えています。この大きな問題に対して、中国はどのような対策を行い、また、行ってきたか、そして、これからどのように向き合っていくかに興味を持ったため調べていくことにしました。

2. 中国の現状について

　現在の中国は様々な環境に対する問題を抱えています。
例を挙げると、自動車の増加・石炭の火力発電に伴う排気ガスによる大気汚染・酸性雨・温暖化、工業排水・生活廃水による水質汚染、経済の発展と産業の活性化による産業廃棄物と都市ゴミの増加、重金属による土壌汚染、森林伐採で拡大する砂漠化と黄砂の大規模化、内陸部の深刻な水不足、黄河の干上がり、長江などの大河川の氾濫、人々が住む環境という点に着目すれば、人口増加と効率の悪い大量消費によるエネルギー問題、生活の便利さの裏で起きている騒音・悪臭問題、自然の汚染による食品の安全性の問題、経済格差による経済成長と共に広がりつつある格差社会問題や地域格差、所得格差問題など人々の身近な生活問題も挙げられます。エネルギー問題などの生活問題は経済的に発展した先進国特有の問題と思っていたため、既に中国がこのような問題を抱えているとは思いませんでした。しかし、このことは中国が既に経済大国の一つであることを同時に知ることができました。具体的な例として水質汚染の事を挙げて説明しようと思います。7 大水系（長江流域、淮河流域、海河流域、珠江流域、太湖流域、松遼流域）を含む河川、湖については 6 割が深刻な汚染に侵されていると言われています。その原因は工場の生活廃水や人々の生活廃水、農業の農薬や化学肥料が挙げられます。重金属や有機物、窒素やリン系の汚染により赤潮の発生回数も増加する傾向にあり、漁業に深刻な被害を与えています。既に都市河川の七割以上、地下水の半分は飲料水に適さないとまで言われています。主な汚染の原因は排水と考えられていますが、その排水は中国の都市部の発展と経済の成長に伴い増加の一途をたどっています。排水の種類は大きく分けて生活廃水と工業排水の二つに分けられますが、予想外に、近年の状況は生活廃水が工業排水を大きく上回り、生活廃水が工業排水に対して二倍にもなり、COD(水中に含まれている有機物の量＝汚染のレベル)を見ても、工業排水が法の規制や企業の自習的な工夫により減少傾向にあるのに対して、逆に生活廃水は増加傾向にあり、このことから、企業などは少しずつ環境に対して意識を持ち、対策を行いつつあるのに対して都市部で生活する人々には環境問題に対する意識があまりもたれていないことがわかります。
こうした排水が問題になる一方で内陸部では水不足が深刻化しており、同時に進行している砂漠化も関係し、中国では重要な農業ができなくなってしまっている地域もあります。今現在中国の 30 省、889 の県で合計 174 平方キロメートルの砂漠が広がり、これは中国国内の 18 パーセントに当たるとされています。砂漠化が進むことにより、中国では日本円で毎年 4,500 億円もの経済損失と計算されており、このような経済的な被害も起きております。北京など都市部の使用水量の増加が他方では新しい問題を引き起こしてしまっています。このように一つの環境問題が更なる別の環境問題を引き起こす原因となってしまう連鎖的な反応は珍しいことではありません。このような水質汚染のような環境問題の根本的な原因が結局の所は中国に住む人々の環境に対する意識の低さやモラルの欠如だということが重要な問題だと思います。他の具体的例として、ゴミ問題を説明しますと、廃棄物の総生産量は 2000 年から増加傾向にあり、2003 年には 10 億トンを超えてしまいました。とくに都市ゴミは毎年８％増加しているという現在の状況に対し、生活ゴミの無害化処理は３５％に留まっており、固体産業廃棄物の累積量は８０億に達し、１４万ヘクタールの土地を侵食してしまっています。さらには産業有害廃棄物も深刻な問題です。都市と町の生活汚染物質排出量は絶えず上昇している現状ですが、産業有害廃棄物総合利用率は 45.5%にすぎず、処置率は 9.8%で、有害廃棄物の 28.9%は適正に処理されない状態です。2000 年における中国の産業有害廃棄物の発生量はすでに 3,186 万トン/年に達し、そのうちの 200 万トン近い廃棄物が処理されずに排出され、有害廃棄物と有毒な科学汚染物質はすでに環境と人の健康に害を与えています。環境の汚染された地域では癌や奇病の多発、奇形生物の発生などが報告されています。
ゴミの排出という観点から問題を見ると、ゴミ問題に拍車をかけるのが水質汚染と同様に中国の人々の環境保全に対する意識の低さや知識の乏しさにあると思います。このことが今とても危険視されています。

例えば、２００７年には、川の汚染の影響で酸欠になり死亡し浮いた 50 万匹の魚に対して、食すために周辺住民が一斉に群がり捕まえるなどの事例もあり、環境汚染における人体への影響について教育されていない傾向にあることがわかります。先ほどか何度も示しているように環境問題の一番の問題であり、また原因でもあるのは環境問題に対する人々の姿勢だということです。一部の人々の間では環境問題に対する意識は高まりつつありますが、逆に貧困層や文明が未熟な田舎の人々にはほとんど意識されていないと言われています。貧困な人々と裕福な人々では経済的格差だけでなくこうした環境問題に対する意識や姿勢にも大きな格差が生まれてしまっているということがわかります。この格差は将来の中国にとって大きな課題のひとつだと思われます。

3. 政策の歴史

中国と環境問題の関係は以外に古く、中国大陸における環境破壊は、既に孟子によって記録されているほどで、有史以来の長い歴史を持っています。

こうしたさまざまな環境問題に対して中国政府も様様な政策で対応してきました。

「ハンドブック経済中国」を参考に次の表で表すことができます

表Ｉ

1970 年代	事　　項
1972 年	国連環境人間会議（ストックホルム）
1973 年	第１回全国環境保護会議 「環境保護と改善に関する若干の規定」制定
1974 年	国務院環境保護領導胡小組設置
1878 年	憲法に環境保護義務明記
1980 年代	
1883 年	第２回全国環境保護大会 →三大環境政策提起
1984 年	国務院環境保護委員会成立
1986 年	第７次５か年計画期の環境保護計画制定 環境法体系の整備が強まる
1989 年	環境保護法制定 第３回全国環境保護会議
1990 年代	
1991 年	発展途上国環境開発閣僚会議（北京） →北京宣言
1992 年	国連環境開発会議（リオデジャネイロ） →アジェンダ２１
1994 年	「中国 21 世紀議定」発表
1996 年	第四回全国環境保護会議 中日友好環境保全センター開所（北京）
1999 年	第１回日中環境産業協力会議（北京）
2000 年代	
2001 年	環境保護産業の発展第 10 次５か年計画策定
2002 年	国連環境開発会議

年表を見てまず驚いたのはすでに１９７０年代初頭から中国が環境問題に対して対策を練っていたという事です。中国政府が当時の日本が経済発展し、その裏側で環境問題に苦しんでいた頃から環境問題という新しい問題に対して意識を持っていたことは全く知りませんでした。環境問題の重大さについて中国政府は早くから認識しており、自国で既に１９７３年には第１回全国環境保護会議を開催し、７９年には後に基本法となる「環境保護法」が公布された。その後、政府により環境関連の行政組織の整備、環境法規・基準の制定、環境汚染の実態調査が進行された。その一方で、企業に対しては、向上の汚染防止設備の建設を設計・施工・操業し、チェックする「三同時政策」、排水・排ガス・廃棄物の「三廃」の総合利用を打ち出されました。８４年以降は、環境問題を基本政策として５か年計画に取り入れるとともに、経済成長との両立を模索し始めた。それらは環境・経済・都市の建設を同時に計画、実地、発展を行うものであり、「三同歩」方針と言われている。９０年代に入ると環境保護の国際協力に積極的になり、国際会議にも進んで参加しています。９４年には「中国２１世紀議程」が発表されましたが、環境投資の比率はＧＤＰの１％以下ととても低く、２０００年代からは環境保

護関連産業の育成と製品開発に重点が置かれています。近年では北京オリンピックに向けて、美しい国を目指して様々な政策が行われています。そんな中国の姿勢に対して、日本は積極的に中国の環境保護に協力する形をとっています。

4. これからの中国

中国には環境に対する様々な問題や課題がたくさんありますが、まずは目前に迫っている北京オリンピックに対して考える必要があると思います。オリンピックは世界でも重要な国際行事です。世界中から様々な国の人々がたくさん開催国である中国にやってきます。しかし、やってきた人々が中国の経済発展の裏側に気づき、その部分をかいま見てしまったら、中国という国に落胆や失望する怖れがあります。これからの中国に必要なのは、先進国の仲間入りをすると同時に、先進国として恥ずかしくないような国に成長していくことだとおもいます。その為には中国の人々が目先の利益や自由に固執するのではなく、先進国の国々が犯してしまった公害による被害を認識し、同じ過ちを犯さないように政府や人々が常日頃から環境問題に対する意識を持つことだと思います。しかし、ここでも問題となってくるのは貧富の差による経済格差です。

環境問題に対する認識力には貧富の差が関係しており、特に貧困層ではこの認識力や環境問題に対する意識が低く、日本よりも遙かに貧富の差が大きく、経済力に大きな格差ができてしまっている中国にとっては、経済の格差は社会だけでなく、人々の生活や環境問題にも大きな影響を与えてしまっています。日本でも問題になりつつある格差社会の問題が、日本よりも格差の大きい中国がこの問題に対してどう向き合っていくかにとても興味が向けられます。これからの中国の動向は他の発展途上国にも影響を及ぼすものであり、もし、これからの中国が模範的な国に発展していけば、それを模倣した他国も良い方向に発展しやすくなると思う為、他国の為にも中国には大きな期待がかかっていると思います。

5. まとめ

今回のテーマを調べてみて、中国も日本と同様に様々な問題をたくさん抱えているということがわかりました。今回では環境問題に限定して調べてみましたが、中には先進国特有の問題などもあり、先進国の仲間入りをするということは、同時に様々な問題について考え、対策を立てなければいけないことだとおもいました。しかし、中国が既に先進国の仲間入りをはたしているということを環境問題からしるとは思いませんでした。まだ一部の中国人は確かに環境問題に対する、認識や関心はとても低いかもしれませんが、まだ、中国という国はまだ成長の途中だと思います。だから、これからの中国の人々も様々な国と国際交流を経て模範的な国になり、自国だけでなく他国も助ける事のできるような素晴らしい国に成長していってほしいと思います。中国のこれからの成長は世界に大きな影響を与えると思われます。未来の中国がどの様な国に成長、発展するかによって、世界が良い方向にも、悪い方向にも変わっていくと予想することができます。

だからこそ、これからの世界にとって重要な鍵となっている中国は、他の発展途上国に対する良い模範となるような国になってほしいと思います。

参考文献

1.愛知大学現代中国学部編、2006.4、『現代中国　第二版』、あるむ

参考サイト

1．シノ☆ロジー　水が危ない　http://blog.so-net.ne.jp/shinology/2007-06-05
2．大和総研/コラム　中国環境
http://www.dir.co.jp/publicity/column/061225.html
3．中国の環境問題　現状　http://www.aiainet.jp/~mz/shimakura/shimakura02.html
4．中国の環境問題と対策
http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~haisui/journal_j/no_14/environ_chaina.html
5.wikipedia
http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%AD%E5%9B%BD%E3%81%AE%E7%92%B0%E5%A2%83%E5%95%8F%E9%A1%8C
6．『中国の環境問題』　急速な経済発展の裏側で
http://www8.cao.go.jp/youth/kouryu/h14/china/china-report01.html
7．中国の環境問題の現状と対応策
http://www.smrj.go.jp/keiei/kokurepo/kaigai/backnumber/005217.html
8．中国の汚染、一番の被害者は中国人
http://eco.nikkei.co.jp/interview/article.aspx?id=20070718i3000i3

木曜日３限　「中国文化事情」レポート　担当教員　朱新建

法学部現代社会法学科　斉川貴大

中国の環境問題について
環境に影響することを中心に

キーワード：大気汚染・水質汚染・産業有害廃棄物

１、はじめに

今日でも環境問題というのは世界で大きく取り上げられている。日本も環境問題についてはがんばっていると思う。だが、世界の国々で環境についてなんの関心もなく環境破壊を続けている。特に中国は環境破壊をしていると私は思います。理由としては次のことがあげられるとおもいます。まず、大気汚染、水質汚染、都市ごみ、砂漠化・土壌流出、農村部における環境悪化、産業有害廃棄物、海洋生態環境のそれぞれがあげられます。

２、大気汚染について

最初に大気汚染です。大気汚染となる原因としては酸性雨、SO2、自動車の排気ガスおよび微細粒子による汚染です。中国で最も深刻な問題です。特にひどいのは酸性雨である。中国という国は世界から見てもとても工業が発展している国である。そのために工業が発展するとともに経済も発展していき電力の消費も激しくなっていきます。だから大気中に二酸化硫黄が急増して酸性雨を引き起こします。また、大気汚染の他の原因として、自動車の排気ガスがあり、これは自動車の保有台数が増加したことと、排気ガス中の汚染物質量が多いことによります。中国における自動車の保有台数は、1980 年から 2003 年にかけて 168 万台から 2,421 万台へと急激に増大しており、また、1990 年代末の中国の自動車１台当たりの排気ガス量は先進国の 10～15 台分に相当し、汚染の濃度も先進国の同種類の車より３～10 倍も高いことがわかります。たしかに国の経済を発展していくことはとても重要だとおもいます。でもその経済が発展していくとともに環境がおかしくなっていくのはいけないと思います。日本の車産業みたいにハイブリットカーを採用してみたり低燃費の車を輸入してみたりすると少しはかわるんじゃないかなぁって思います。また、中国は自転車を乗っている人が多いで有名なんだから多くの国民に自転車を使ってもらうようおねがいするのもいいと思います。

３、水質汚染について

次に水質汚染についてです。私はちいさいころから中国の水はきたなくてのめないときいたことがあります。ホテルなどにいっても売店でちゃんとした飲料水を買わなくてはいけないそうです。実際私は高校にとき修学旅行で中国に訪れたときにガイドさんや学校の先生ホテルの流し台の水は飲んではいけないと言われました。私はそのときやはり水質汚染が関係しているんだと核心を得ました。この水質汚染となる原因としてはこれも工業が関係しています。河川や湖の汚染がひどくなってきています。工業排水が 240 億トンで 77.2%を占めています。排水中の水銀，カドミウム，鉛，クロムなどの重金層やヒ素の排出量は約 4000 トンであり，他に青酸化合物類 2 万トン，油類約 10.5 万トンが排出されています。全国の主要河川のうち本流では 12.7%がこれらの物質によって汚染され，支流においては 55%が汚染されている。この影響で河川や湖が汚されて川魚や水の生物は汚染され死んでしまいます。またその影響で地下水がひどくなり処理場がおいつかなくなるそうです。そのため地上の水も汚れたままで流出しています。私はこのことをしって、本当に中国は危ないと思いました。工業や経済が発展している裏にはこのようなことがあったとは知りませんでした。水道水が飲めないというのは自分としてはとても信じることができません。また黄河の水位上昇や水温の上昇はこれが関係しているのではないでしょうか。この水質汚染が中国だけにとどまるならいいんですが、日本の海流にまで影響してくるとたいへんなことです。自分は福井県出身なんですが二年か三年前に越前海月というものが大量発生して漁業に大打撃を受けました。この原因が中国の黄河が影響しているそうなんです。そのため中国の政府の人たちは自分たちの国の環境問題についてしっかり対策を練ってもらいたいとおもいます。

４、産業有害廃棄物について

次に産業有害廃棄物についてです。これも工業が影響しています。今日でも都市と町の生活汚染物質排出量はたえず上昇しています。これは中国の町がたくさん都市化してきた影響ではないでしょうか。都市化すれば自然に人が増え、自然に人の増えた数だけゴミも増えるんだと思います。またただでさえ中国という国は人口がおおいんだから年に人たちが密集したらたいへんなことになります。自分は中国が都市化しようしようとして都市化していくたびに産業有害廃棄物がでてくるんではないでしょうか。

５、まとめと感想

中国はいったなら高度経済成長していたときの日本とまったく一緒だとおもいます。日本のときも工業がた

くさん増えたことによってたくさんの環境問題におかされて亡くなった人たちがいました。このようなことは中国ではあってほしくないと思います。だから中国政府の人たちだけじゃなく国民全体で環境問題に向き合っていってほしいです。また環境問題は中国ではとどまらず世界の問題としても発展してきています。だから一番みじかな先進国の日本と協力しあっていってほしです。また世界のことも考えてほしいです。

参考文献

１、愛知大学現代中国学部編、2006.4、『現代中国　第二版』、あるむ
２、中国の大気環境問題について
http://www.ne.jp/asahi/chen/jianyuan/taiki.html
３、中国の環境問題の現状と対応策
http://www.smrj.go.jp/keiei/kokurepo/kaigai/backnumber/005217.html
４、ウィキペディアフリー百科事典
http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%AD%E5%9B%BD%E3%81%AE%E7%92%B0%E5%A2%83%E5%95%8F%E9%A1%8C

木曜日１限　教養セミナーＩ「現代中国事情」レポート　担当教員　朱新建
法学部法学科１年　太田竜嗣

中国の車事情と環境問題

1.　はじめに

今回は前回調べた環境問題に伴いガソリンの急騰などで注目の自動車事情について調べた。北京では依然２４０万の人が通勤に自転車を使っている一方で、１日当たり約１，０００台の新車が街に登場している。世界銀行によれば２０２０年までに中国の自動車保有数は１億７，０００万台に達し、米国を抜くとされている。自動車販売台数は年間７００万台を数え、今年日本を抜き、１，６００万台の米国に次ぐ世界第２位の自動車市場となった。

２．　自動車産業の歴史

2000 年の中国の自動車生産台数は、初めて 200 万台を超えた。生産台数では世界 第８位であり自動車生産大国と言っても過言ではない。しかし現在国内には 100 社を 超える自動車メーカーが乱立しており、1 社あたりの生産台数は世界の自動車メーカーと比較すると極めて少なく、「規模の経済」が成り立っていない。この背景には過去の自動車産業政策、地域主義・地方保護主義の影響があり、現在まで負の遺産として残っている。

1980 年代初めから積極的に外資導入を行ない、90 年代初めに三大三小政策（三つの大メーカー、三つの小メーカーの育成）の形ができた。中国は外資導入を通して先端技術の導入、経営管理ノウハウを吸収する政策を明確にした。90 年初めから三大三小メーカー以外の外資に対しては門戸を閉ざしていたが、90 年代後半から新たな外資の参入が相次ぎ、自動車産業は転機を迎えた。

3.　自動車市場と産業政策

2000 年の自動車販売は、対前年度比 114%の 209 万台と初めて 200 万を超えた。特にバスは、高速道路、一般道路の敷設拡大に伴なう都市間交通の手段として大幅に販売を伸ばしているのが特徴である。乗用車も前年比 107%と堅調な販売が続いている。最近、輸入車に対抗できる国産乗用車が相次いで市場に投入されており、従来輸入乗用車が主流であった高級・中級乗用車市場において国産車のプレゼンスが急速に高まっているのが販売好調の要因である。

中国政府は 2001 年 6 月、今後の産業政策の指針となる「自動車工業第十次五ヵ年計画」を発表した。この政策の中で 2005 年の自動車の生産目標を 310 万台、うち乗用車を 110 万台とした。部品産業については ABS、エアバックなどのハイテク製品の育成を重点目標に掲げている。

	生産台数	対前年比	販売台数	対前年比
トラック	764,005	101%	774,901	103%
バス	700,387	138%	700,988	137%
商用車合計	1,464,392	116%	1,475,889	117%
乗用車	604,677	107%	612,737	107%
合計	2,069,069	113%	2,088,626	114%

「自動車工業十次五ヵ年計画」の発表

国家経済貿易委員会は、2001 年 6 月「自動車工業第十次五ヵ年計画」を公表した。第　十

次五ヵ年計画期間（2001～2005 年）は、中国自動車産業の発展を左右する重要な　5 年となり、WTO 加盟はこれまでにない試練であるとともに発展の絶好のチャンスとしている。これに　よると、2005 年時点の自動車生産台数は 310 万台、うち乗用車 110 万　台を目標にしている。部品も含めた産業全体の生産額は 1300 億元、GDP の 1%を占める規模に高める。排気量 1300cc 以下で価格が 8 万元台のエコノミーカーを投入し、マイカー市場の拡大を図るとしている。また、第一汽車、東風汽車、上海汽車を中心とする業界再編を加速するとしている。但し、政府関係者のコメントによると、業界再編を政府主導で強制的に行う考えはなく、あくまでもメーカー同士の自由意思による行動が前提で、政府は提携、合併等の調整や誘導を図る姿勢。

また、部品産業については、中国は既に自動車部品の一定の基礎と生産量を確保し、労働集約型、材料集約型は一定の強さを持っており、今後も継続して強化するとしている。今後の部品産業の重点は ABS、エアバック、三元触媒などのハイテク製品を発展させることとしている。

同計画では、WTO のルールに基いて 94 年に公布された「自動車工業産業政策」の改訂、外資導入のガイドラインとなっている「外国投資産業指導目録」の見直しにも触れており、今後の具体的な政策、法規の公布を注視する必要があると思われる。

同計画では下記の通り 2005 年の自動車の保有台数と需要予測台数も示している

４.自動車による環境問題

最近は都市部を中心として自動車の普及が進み、自動車騒音が大きな問題となりつつある。政府が行った調査では、全国 401 のモニタリング都市のうち、21%にあたる 84 都市が問題ありとされており、昼間の騒音が 70 デシベルを超える重度騒音に指定された都市も 13（3.2%）含まれている。大気汚染の原因として、自動車の排気ガスがあり、これは自動車の保有台数が増加したことと、排気ガス中の汚染物質量が多いことによる。中国研究所編（2004）によれば、中国における自動車の保有台数は、168 万台（1980 年）から 2,421 万台（2003 年）へと急激に増大しており、また、1990 年代末の中国の自動車 1 台当たりの排気ガス量は先進国の 10～15 台分に相当し、汚染の濃度も先進国の同種類の車より 3 ～10 倍も高い。

深刻化する大気汚染に対して、中国政府や各都市自治体は、環境基準の厳格化や罰則の強化等を実施しているが、工業化の進展や自動車数の増加が見込まれる中、環境対策に対する今後の動向が注目される。

5.まとめ

中国はまだ日本ほど自動車産業は発展していないが、年々自動車保有台数が増えてきていて大気汚染や騒音など環境への影響も出てきていることがわかった。しかし、自動車開発においては安全性の見直しなど輸入車が中心だったのが国産車の販売に力を入れ始め急速な発展が望まれると思いました。今後も世界の中で大きな市場になるであろう中国の自動車産業について注目していきたいと思う。

参考文献

1. 吉田　実著、1988. 8、『日中報道　回想の三十五年』、潮出版社

参考サイト

2. 中国の車事情 http://www.jcipo.org/shiryou/che.html

木曜日３限　「中国文化事情」レポート　担当教員　朱新建
法学部現代社会法学科１年　清成一清

中国の食文化

キーワード：　　中国料理の特徴　犬肉　五大料理

1. はじめに
授業で食文化の文を読み中国料理に興味を持ったので調べました。それでは紹介します。

２．中国料理の五大特長
２，１、高栄養の効率
　いずれの料理にも動植物脂肪を使用しますが、使い方が巧みで、油っこさを感ぜず、脂肪が強化され、また植物性食品を主にした炒め物などにも蛋白質が含まれ、鳥、肉、魚などの、から揚げなど、豊富な栄養摂取により脂肪、カルシウムなどを補う事が出来る。
２，２、高温処理
　中国料理は特殊材料理以外は、生のまま食べる事は少なく、ほとんどは加熱して用いられます。炒め物などは高温でできるだけ短時間に処理される為に、ビタミンＣが破壊されずにすむ。
２，３デンプン処理による栄養の完全吸収
　食油によって、ほとんど調理されるので、ややもするとスープと食油が分離しやすいのでが、水ときのデンプンを加えとろみをつけるにことよって,水分と食油が融合して、材料のもつ栄養分と、自然の持ち味の流失を防ぎます。また、デンプンによって料理の舌ざわりが滑らかになる効果もある。
２，３、大皿盛りによる経済性
　中国料理の共卓法は、大皿の一皿盛りになりますので、手間、皿数などの無駄がなくてすみます。材料も１羽の鳥、１尾の魚でも、あますことなく合理的に処理できます。皿数が少なく済む為に、したがって後片付けも、簡単で、時間的にも経済的といえる。
２，４、特殊材料理の利用
　中国料理は乾物類が多く使われますが、ツバメの巣、ふかのひれ等の著名な特殊材料だけでなく、一般材料も乾燥して、保存され、いつでも四季の必要に応じて使え、非常に便利で、その調理応用にすぐれている

３．中国の昔の食文化
　中国の新石器時代の遺跡からは、犬の骨が大量に出土している。これは犬を食用として大量に飼育していた為である。黄河流域にも長江流域にも犬食文化は存在した。
　だが、狩猟や遊牧を主たる生業とする北方民族は、犬を狩猟犬として、或いは家族や家畜群を外敵から守る番犬として飼っており、犬肉を食べない。こうした犬は生業や家族の安全を託す生活の仲間であり、家族同様だったからとする見方がある。
　中国では、五胡十六国時代に鮮卑等の北方遊牧民族が華北を支配した為に、犬食に対する嫌悪感が広まった。北方民族が入らなかった南朝でも、5 世紀頃から犬を愛玩用として飼う風習が広まり、特に上流階級はペルシャ犬を愛好した。この為、南朝でも犬食を卑しいとする考えが広まり、時代が下がるに連れて犬食の風習は廃れていった。但し『本草綱目』にも犬の記載があり、全く廃れた訳ではなかった。現在でも、広東省、湖南省、雲南省、貴州省、江蘇省等、広く犬食の風習が残っている。江蘇省沛県や貴州省関嶺県花江は犬肉料理で有名な場所である。地名にも養殖場があった場所として、「狗場」等の名が使われている場所が多くある。広東省広州では「狗肉」（カウヨッ）の隠語として「三六」（サムロッ）や「三六香肉」（サムロッヒョンヨッ）と呼ぶが、「3+6=9」で同音の「狗」を表した表現である。概ね、シチューに似た煮込み料理に加工して食べられる。調理済みのレトルトパックや、冷凍犬肉も流通している

４．中国五大料理
　中国には五大料理と呼ばれる料理がある。それは北京料理、広東料理、四川料理、上海料理、福建料理の五つだ。

４，１、北京料理は北部の黄河流域の地方を代表する料理である。首都北京の官邸料理を中心に発達した料理といえる。北京地方は北方なので、非常に寒冷のため高カロリーが要求され、脂肪の多い料理すなわち、炒め物、揚げ物など火力の強い熱度をもって短時間に調理するのが特徴で、子豚、鯉、鴨など全形料理が特に発達している。この地方は米の生産が少なく、小麦の生産が盛んなので、麺類、饅頭餅などの粉製品が主食となっている。またイスラム教の影響で羊肉も食す。
代表料理には、北京ダック、水餃子、ホーコウツ（羊肉のしゃぶしゃぶ）があげられる。
４，２、広東料理、広州は南部地方の代表的する港町で暑熱がきびしい。しかし豊富な産物を有し料理も幅広く研究されている。昔から「食は広州にあり」といわれるほど、あるとあらゆる食材があり、へび、白ねずみなどいかもの料理なども有名である。
又、それにつれて調理方法も発達した。そして、香港に近いこともあり欧州の影響もあり、ケチャップやカレー粉を使用した料理も多く見られます。飲茶が盛んで、点心類も豊富です。味付けそのものはサッパリ系が多いです。
代表料理には、酢豚、腰果鶏丁（鶏肉とカシューナッツの炒め）、蠣油牛肉（牛肉のカキ油炒め）などがあげられる。
４，３、四川は西部の揚子江上流地域の山岳地帯であり、雲南、貴州地方とともに、冬期は著しく寒冷で、夏は思いっきり暑い所。海産物を使用した料理は少なく、肉類や川魚、野菜の料理がメインである。冬は寒さが厳しく、体を温めて発汗作用のある、ニンニクや唐辛子を使ったスパイシーな味付けが特徴。そのほかにも、トウバンジャンやチーマジャン等、色々な調味料や香辛料が使用され、濃い味付けだ。
代表料理には、エビチリ、麻婆豆腐、回鍋肉（ホイコーロ）、棒棒鶏、坦々麺などがあげられる。
４，４、上海料理は東部の揚子江下流地域の、上海、蘇州、揚州、杭州の各都市で発達した料理。海が近く、又，川、湖も多く魚介類料理が多い。特に有名なのは上海蟹です。気候的に恵まれて料理の種類は豊富です。また米の産地でもあり、米を主食とした料理が多く、そして醤油の産地でもあり醤油味が多いのも特色です。味付けそのものは、甘辛く濃い目の味付けのようです。他の地方の料理に比べ油の使用量も若干多めです
代表料理には、トンポーロ（豚角煮）、油林鶏（鶏の丸揚げ香味ソースかけ）、蠣油鮑魚（あわびのオイスターソース煮）などがあげられる。
４，５、福建料理は亜熱帯に近い暑気のきびしい南中国にあたり、自然料理の味も淡白で、日本人の嗜好に適している。野菜、魚介類の調理はたくみで、野菜のみの原料で鯉の丸揚げ、エビの料理などと錯覚させるほど見事な料理を作る程、料理技実が、発達している。魚も日本の刺身に近い魚生（ユイション）料理があり、主に、貝類、すっぽん、えび、蟹料理、鍋物などに特色があります

５．まとめ
　以上のように中国料理のついて調べて分かったことは、日本では刺身など生で食するものが割とあるが、中国では食材を生で食することが少ない。あと、各地方によって、その地方にあった食材を使い料理を発展させている。

参考文献
１、愛知大学現代中国学部編　「現代中国」
２、ウィキペディア
http://ja.wikipedia.org/wiki/Category:%E4%B8%AD%E5%9B%BD%E3%81%AE%E9%A3%9F%E6%96%87%E5%8C%96
３、中国の食文化
http://www.wa.commufa.jp/~dancho/ryouri.htm

木曜日３限　「中国文化事情」レポート　　担当教員　朱新建
法学部現代社会法学科１年　竹之内雄太

土葬から火葬になるまでの方針や目的と新しい葬送

キーワード：　　土葬　火葬　自然葬

１．はじめに

中国は多くの先進国が土葬から火葬に変わっている中で、儒教の教えの影響や地域格差などによって今でも土葬を残している国である。中国の人口は現在約１１億人で年間の死亡者数は約１５００万人であり、死者数は日本の約２０倍ともいわれている。

２．中国の土葬について

中国で土葬が行われていたのは中国ではかつて儒教思想の支配下にあり、亡親を火葬するのは親不孝の最たるものであるとして忌避されていたからである。そして死を生と同じように重要視し、祖先の墓を立派にすることが生きている者に繁栄と幸福をもたらすと信じられてきたからである。そのため彼らにとって亡くなった人の骨灰を納める墓は重要なのである。また地方の場合では人が死ぬと場所によっては遺体の足を玄関口に向け、買水（外の流水）したもので湯灌をして清潔な衣服を着せる。近隣の人々に人の死が伝えられると、通夜の晩には遺体の傍らで年老いた人々が念経することもある。そして翌朝に納棺して釘付けをして地元の有志が担いで墓地へ向かう。葬列は先頭に弔旗をたて爆竹を鳴らしながら進むが、会葬者の多くは平服に黒の喪章を付ける程度で特別な喪服は着ない。また喪家に戻ってからは会葬者に簡単な食事を出すことが多かった。

３．中国の火葬について

中国の火葬は１９５６年に毛沢東が火葬の導入を提唱したことから始まった。この火葬を始めた目的は棺材なる森林資源の節約と墓地用地による耕地の減少を食い止めることが目的であった。また１９７６年には周恩来が八宝山で火葬され遺骨が中国全土に撒かれた。１９８０年代から政府によって殯葬改革業務の強化が訴えられ、「改革殯儀・移風易俗」というスローガンのもとで中国の殯葬改革は都市部から農村まで展開された。当時の政府からの通達には全国の８５％の都市、３０％以上の県で火葬が行われて改革の実行が十分に徹底されていない向きがあることを指摘した上で「各階級の人民政府はこの方針に則って、宣伝工作も含め努力するように」とあった。河北省の人民政府からの通達によれば、河北省では既に１３５の市や県に火葬場があり、１０の県で火葬場が基本建設計画に組み込まれていて土葬の制限や宣伝教育が行われていた。しかし１９８３年の共産党からの伝達には実際には火葬率が低下していると謳われ、それによれば１９８２年の火葬率は全国で１４.5%、大都市では７０～８０％だがそれ以外は１０％台ということであった。そこで共産党員は「喪事を簡素化し、率先して火葬を実行せよ。」と強調し、こうした動きをふまえて

中国国務院は殯儀管理に関し数々の規定を１９８５年２月８日に発布した。第一に従来の土葬を改革して封建的、迷信的な葬送習俗を除去することを掲げ、このことから葬送儀式で消耗する資源の節約と費用の倹約を狙ったのである。第二に人口過密、平原、交通便利な地区は火葬にするべきだと訴え、その他の地区は土葬を許可するが改革を義務づけ火葬推進地区の線引きは省、自治区、直轄市（北京、天津、上海）で定めた。第三に火葬推進地区の人民政府は具体的に計画を策定することとし、火葬場、殯儀館の整備を地方基本建設計画に組み入れた。第四に火葬の推進が困難な地区は土葬用地を計画的に指定するとし、村、集落を単位に荒山や瘦地を公募とした。そして埋葬は深く固め、表面を平らにして土饅頭を作らないように提唱した。また宗族墓地の復元や新たな建立も禁止した。第五に従来、習俗的に行われてきた迷信による葬送用品の生産や販売、使用を禁止した。第六に名勝旧跡、文物保護区、風景区、ダムや河川敷、鉄道用地、道路両側への憤葬を禁止した。既存の憤墓については、国家保護の革命烈士（共産革命、抗日戦争、新中国の解放戦争などに貢献した人々）の墓、知名人の墓、華僑の祖先墓や歴史的、芸術的、科学的価値のある古墓は保存し、一般の土葬墓は期限を定めて移転あるいは破壊することを強調した。第七に漢族以外の少数民族の葬送習俗は尊重して干渉しないとした。第八に火葬推進地区では国営機関の労働者が火葬を拒否する場合は葬送費用を支給しないと決めた。所属する単位は喪事活動の便宜を図ってはならず、国営機関の労働者がこの規定の執行を拒否するときは行政処分をすることになっており、これらの規定が現在の中国の葬儀事情の根本概念といえる。また各都市では殯儀館（葬儀・火葬・納骨がまとめて出来る）の建設を推進しており現在中国全土には約１２００ヶ所の殯儀館と４０００基の火葬炉があるといわれ、全国の火葬率は１９９０年代で約３０％に達している。これは日本比べると少ないと感じるが儒教の思想が主流だった中国の習慣を振り返るといかに中国が火葬に力をいれているかが窺えるだろう。ちなみに日本では約１３００年前（７００年）に僧の道昭の遺体が飛鳥の栗原というところで火葬されたのが始まりである。またこの二年後に持統天皇が天皇で初めて火葬された。

４．　自然葬について

　この数年中国では中国経済の発展と伝統的文化への段階的回帰に伴い、清明節もますます重視されるようになってきており、葬儀、追悼の伝統を守ると同時に文化的で環境保全型の新しいタイプの葬送、追悼が生まれて人々に認められてきている。この新しい葬送とは自然葬といわれるものであり、これは墓でなく海や山などに遺体や遺灰を返すことにより、自然の大きな循環の中に回帰していこうとする葬送の方法の総称である。また自然葬は狭義にとらえると散骨と同義であり、広義にとらえると風葬、鳥葬、水葬、植樹葬、海葬、冷凍葬など自然に回帰するような葬り方全般を指すとらえ方もある。また伝統的な葬送では埋葬料が１万元から１０数万元もするものに比べ、自然葬の樹木葬、海葬などでは一般的に数１００元ですみ、最高でも１０００元を超えない。このことは一般の人々の消費能力に一層かなっており自然葬の樹木葬などは土地の占有が少なく、文化的で環境を守

る新しい葬送の方法であるので地元の民政官庁が大いに提唱していることからも自然葬が人々に認められてきている理由の一つである。

５．　まとめ

上記で述べた通り、中国では初め土葬であったがその後に火葬、最後には自然葬に移り変わってきているがこれはやはり国、国民、社会情勢の変化などが原因でありその変化に合わせて葬送も変わってきているということである。中国では儒教思想などの亡親を火葬するのは親不孝という考えによっていまだに土葬が残っているところがあるが私個人としては火葬や自然に回帰する自然葬に賛成である。確かに親不孝をすることはいけないと思うが、土葬をしてしまうと耕地の減少してしまうことや残された者たちの葬送の為の経済的負担が多いなどの問題が発生してしまうので火葬や自然葬の方が良いと考え、これからは自分の周りの環境や子孫のことを考えた火葬や自然葬を行うことが未来に繋がっていくと私は考えるからである。

参考文献

１.愛知大学現代中国学部編、２００３.１０、『ハンドブック　現代中国』、あるむ

２.中国の葬儀事情

http://www.osoushiki-plaza.com/institut/dw/199501.html

３.葬祭研究所（葬儀に関する論文-世界の火葬状況と日本の火葬の未来）

http://www.sousaiken.com/ssk/ronbun/uya.html

４.自然葬-Wikipedia

http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%87%AA%E7%84%B6%E8%91%AC

５.中国で樹木葬など環境保全型葬送増える

http://221.112.230.14/society/2007/04/soc07040406.htm

木曜日３限　「中国文化事情」レポート　担当教員　朱新建
法学部法律学科１年　夕永龍太

中国の通貨、度量衡、郵便について

キーワード　　通貨、度量衡、郵便、秦の始皇帝

１、通貨
　中国の通貨単位は人民元である。この「元」という単位は、本来「円」の読み方、発音に近いということから確立されたものである。
現在紙幣は２３種類、硬貨は１０種類流通している。
　紙幣の人物は１９６０年代の中国で文化大革命を起こし、中国に多大な影響を与えた毛沢東である。現在、全ての紙幣に毛沢東の肖像画が描かれている。その裏には中国のさまざまな風景がえがかれている。現在の紙幣では、１００元札には人民大会堂正面玄関、２０元札には桂林の漓江の風景、１０元札には長江三峡の風景、５元札には山東省泰山の風景が描かれているのである。
過去の紙幣には、他に中国に影響を与えた孫文の肖像画が描かれていた紙幣も存在していたのである。
　中国の紙幣は、自国に変化をもたらした人物を紙幣に描いているのである。
　また貨幣においては、中国の貨幣は世界一古く、新石器時代（４０００年前～５０００年前）では、宝貝を貨幣や財宝としてつかっていたのである。
　その後時が進むにつれて、中国の各地域ごとに貨幣の形や色、単位などが変わっていき、「銭」、「刀」、「布」といった名称の通貨が誕生した。
　しかし国が多々存在すれば、国と国とで内乱が起こり、中国を支配しようとする。そしてそれを支配し、中国を統一したのが、秦の始皇帝である。
　秦の始皇帝は、中国を完全に統一するために貨幣の統一を行ったのである。そこで、秦の始皇帝は、貨幣を半両銭に統一したのである。
　さらにその半両銭から変化し、中国の貨幣は丸く、四角い穴の開いた形になっている。宋や明の時代ともなると、中国の貨幣は東アジアの共通貨幣として流行したのである。

２、度量衡
　中国の度量衡は貨幣と同じように、秦の始皇帝が統一させた。度量衡とは重さや長さの計測単位である。
　東アジアのほとんどが、「尺貫法」という度量衡の表現方法を用いていたのである。尺貫法とは、長さのことを「尺」として用い、重さのことを「貫」として表す方法である。日本でもこの尺貫法が使用されていたのである。
　しかし、中国では重さの単位の事を「斤」で示されているため、「尺貫法」とは言わず、「尺斤法」と言われている。この「尺斤法」「尺貫法」の作られた場所は、中国なのである。
　中国では、長さを里。重さを斤。貨幣は両や元である。
　中国の度量衡は日本の度量衡と同じであり、日本の長さの単位であるｍ（メートル）や重さの単位であるｇ（グラム）などをそれぞれ漢字にあてて使われている。主にｍ＝米、
ｋｍ＝公里、ｇ＝克、ｋｇ＝公斤、量は「升」とされている。ほかにも、市斤＝２分の１ｋｇ、市里＝２分の１ｋｍ、１ｍ＝３市尺とされている。しかし中国の人々は、日常生活において中国独自の度量衡も残っているのである。主に食物関係では、斤と両が良く使われるものである。現在では「尺貫法」を使っている国は、メートル法に切り替えられているが、中国の民間の間では、「尺斤法」が使われているのである。
　中国の度量衡は秦の始皇帝が成立させたため、もっとも古いものである。
実は、日本の度量衡や測量技術も中国から伝えられたものである。それは、６世紀の遣隋使、遣唐使によるものなのである。日本で６４５年に行われた班田収授法、天正１７年に行われた豊臣秀吉による太閤検地も中国からの測量技術を基盤に用いたものである。
　３、郵便
　この郵便という分野においても秦の始皇帝がはじめたものである。秦の始皇帝はこの郵便制度も国家統一の証であり、この郵便制度を利用して中国国家政府の指令などにもつかわれていた。
現在の中国郵便ポストカラーは、日本のような赤ではなく濃い緑となっている。
ちなみに郵便局の車、バイク、自転車、制服まで全て濃い緑色である。
中国郵政は国家郵政局の管理監督下に営まれる郵便事業全体を指している。この国家郵政局の下に全国 31 カ所に郵政局が存在している。
　４、秦の始皇帝

秦の始皇帝は、紀元前２４６年-紀元前２１０年の間在位して初めて中国を統一し、紀元前２１１年から中国ではじめて皇帝と称したのである。
秦の始皇帝は、中国の通貨、度量衡、郵便といった文化面による影響だけではない。北方の遊牧の騎馬民族の対策として「万里の長城」を建設、文字の統一、交通の整備、経済といった幅広い分野を発展させたのである。この文字というのは、秦で使われていた漢字のことである。
秦の始皇帝が通貨、度量衡、郵便、文字、交通の整備、経済を統一させたのには理由があり、それは中国が統一されたことを宣言するためのものだったのである。
そんな中国の統一の成立を成し遂げた秦の始皇帝は、非常に自らの死を恐れていたと言われていたのである。そのため秦の始皇帝は、不老不死という思想にはまっていたといわれる。そんな秦の始皇帝に「不老不死の薬を持ってくるから金をくれ。」と金銭をせびる人もいたといわれている。
結局、そんな薬があるわけが無く、秦の始皇帝は皇帝に就任してから１１年の時、紀元前２１０年の５回目の巡遊の際に死去したと言われている。
秦の国も始皇帝が死去されて、４年後の紀元前２０６年に滅亡してしまったと言われている。

５、まとめ
中国の通貨、郵便、度量衡は全て秦の始皇帝によるものであり、全て中国統一のためと言う事がわかる。時代が進むにつれて通貨、度量衡、郵便の特徴は変わっているが、基盤は変わっていないのである。

参考文献
ハンドブック現代中国　愛知大学中国学部　編
秦の始皇帝 http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A7%8B%E7%9A%87%E5%B8%9D
尺貫法 http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B0%BA%E8%B2%AB%E6%B3%95
度量衡 http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%BA%A6%E9%87%8F%E8%A1%A1
秦と始皇帝 http://www.uraken.net/rekishi/reki-chu02.html
http://abroad.travel.yahoo.co.jp/tif/bin/country_guide/areacd=0100/countrycd=CN/

木曜３限　「中国文化事情」レポート
法学部　法律学科　07J024　伊藤洋輝　　担当教員　朱新建

北京オリンピックについて

キーワード　　オリンピック　大気汚染　サポーター　人気競技

1、　北京オリンピックの開催まで

第29回夏季北京オリンピックは、2008年８月８日から８月24日までの期間、中華人民共和国の首都北京を主な会場として行われる。アジアで夏季オリンピックが開催されるのは1988年の韓国、ソウル大会以来、20年ぶり（5大会ぶり）3回目である。中国では初開催である。開会式は中国時間2008年８月８日20時８分（午後８時８分）に行われる予定である。どうして８の数字にこだわるのかと言えば中国では縁起の良い数字と言われているである。

なぜ中国の北京が選ばれたかと言えば、2001年７月モスクワで開かれた国際オリンピック委員会（IOC）での投票で決定された。北京は招致提案として「発展途上国初の五輪」、「節約型五輪」、「東西文化の交流」、「東西文化の交流」ということを全面的に打ち出した。投票には、北京、イスタンブール、大阪、パリ、トロントが立候補していた。日本の大阪府も立候補していたが、大阪府の財政が危機的状況にあり、とても主催することは困難であるかと、環境破壊や会場アクセスなどの諸問題が原因で第１回の投票で早々と落選してしまった。第２回目の投票で北京が圧倒的多数に票を得て決定した。インフラの整っているパリやトロントの招致を支持する動きもあったが、現在の中国の驚異的な経済成長と、世界１の人口を持つという商業的な見地からの理由から、国際オリンピック委員会（IOC）は中国での開催に対し全面的に支持した。決まった直後中国は歓喜に湧いた。

2、大気汚染について

しかしその反面で問題点は山済みになっている。とくに私は大気汚染の問題を一番心配している。きっと競技者達も一番心配していることであろう。なぜなら、大気が悪ければ酸素を体に取り入れることが困難になりベストなプレーやパフォーマンスができなくなるからだ。オリンピックはスポーツの祭典であり、全世界の人々が注目している。

中国の大気汚染の主な原因はエネルギーとして未だに脱硫装置を付けることなく大量の石炭（世界２位）が燃やされていることと、急速な自動車普及に有ると思われ、中国全土の亜硫酸ガスの移動量は非常に高い数値を表している。これにより中国の環境は世界的にみてもワーストと言える。このことが原因で酸性雨被害も凄まじい。特に中国の南部に関しては大半の地域で被害を受けている、中国全土でみても３割の地域で被害をうけている。この影響は季節風の吹く冬季には朝鮮半島や日本にも及んでいる。日本にも、中国本土から大気に紛れた有害物質を含んだ黄沙が流れてきている。少しずつ中国の汚染物質が日本にも流れてきている。九州では、それが原因で光化学スモッグ注意報が出ている。今は、大きな影響が報道されていないが、これからどんどん影響が出てくるかもしれない。今中国で急増しているガンももしかしたら日本でも急増するかもしれない。他にも、北京の主要道路沿いにある建物の外装作業が急ピッチで進み、陰気で古びた外観は明るい色に塗り替えられている。また、平らな屋根は、見栄えよく改装され、美しい絵の施された古風な壁を新たに建築し、その中に雑然した安っぽい平屋建ての家並みを隠してしまった。このような大規模な工事は、修理に莫大な量の合成化学物質が使用されており、家庭内での空気汚染も深刻な状況になる。さらに言えば大気汚染により、外気が悪くなった結果、競技者達にとっても悪い状況になっていっている。そのため、マラソンでは北京オリンピックでの世界記録更新は間違いなくないと言われている。

3、サポーターのマナーについて

中国のサポーターにも不安がある。2004年に行われたサッカーアジアワールドカップでの日本対ヨルダン戦はとても記憶に残っている。この試合に日本が勝てば決勝にあがる大事な試合で日本の国民みんなが注目していた。しかし、試合が始まる前から日本に対してのブーイングが鳴りやまずに、ヨルダンの国歌斉唱の時は、とても静かなのだが、日本の国歌斉唱になると競技場全体で大ブーイングが起きていた。試合中も日本の選手がボールを持つ度にブーイングや野次がとんでいた。これには、そのとき、日本の監督を務めていたジーコ監督も中国のサポーターはマナーがなっていないと異例のコメントを出すほどであった。他にもイタリアのチームと練習試合を行った時には、試合終了時に中国のサポーターがケガを負わせたとうこともある。日本だけでなく、あらゆる国々で中国のサポーターに対して不安を感じていると思う。自国に思い入れが強いことはいいことであるが対戦相手に不快な思いを与えてはいけないと思う。だから来年の北京オリンピックではサポーターはマナー良く応援してほしい。

4、中国人の有力選手について

次に、中国内で北京オリンピックでの活躍に期待されている選手もしくは、チームどこであろうか。北京オリンピックに出場する選手は過去最高の570人に及ぶとのこと。現在確定している選手は500人で、これか

ら約 70 人が加わる予定だ。そのなかでも卓球、バスケット、サッカー、陸上競技の 110M ハードルなどが人気である。とくにメダル最有力なのは、卓球とハードルである。卓球は日本人の福原愛選手が中国リーグでの活躍で日本の人々も関心をもっている。中国の卓球陣は最新の世界ランキングを見ても男女とも上位を独占していて、北京オリンピックでのメダル独占の期待が高まっている。110M ハードルでは劉翔選手に金メダルの期待が集まっている。劉翔選手はアジアの昇り龍と呼ばれ、中国 13 億人の象徴として称されている。近年の活躍は目を見張るものがある。2004 年の IAAF グランプリ大阪では 110M ハードル不動の王者と言われてきたアレンジョンソン破りしかもアジア新を叩き出して世界中を驚かせた。それからと言うもの劉翔選手は国際大会で勝ち続けた。ついには、ローザン国際大会の時に 12 秒 88 の世界新記録を出した。短距離のスプリント種目は骨盤の作り上アジア選手には不利とされているが、劉翔選手はそれも屈することなく世界と渡り合えているところが私は信じられないくらいでとても尊敬している選手の一人である。

5、 まとめ

中国での問題点を来年のオリンピックの前には解決させて選手たちにとって良い環境作りができれば、トップアスリート達の最高のパフォーマンス、最高のプレーができる。そうすれば世界中の人々が歓喜するのは間違いなく北京オリンピックを大成功すると思う。今後の環境問題にも良い成果がでるはずであるし私自身も北京オリンピックに期待しているのでとても楽しみである。

＜参考文献＞

愛知大学現代中国学部編　2006 年「現代中国第 2 版」あるむ
北京オリンピック
http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%97%E4%BA%AC%E3%82%AA%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%83%E3%82%AF
2008 年中国北京オリンピック、空気は読めてる？
http://www.worldwatch-japan.org/CHINAWATCH/chinawatch20070800.html
サッカーアジアカップ中国大会での騒動
http://www.iss.u-tokyo.ac.jp/~marukawa/asiacup.htm

月間陸上マガジンのとくに H17 年 8 月号　講談社
月間卓球王国のとくに H19 年 5 月号

木曜日３限　「中国文化事情」レポート　担当教員　朱新建
法学部現代社会法学科１年　井上雄貴

北京オリンピック
―事情と経緯を中心に

キワード：　大会までの経緯・人権問題・環境問題

１．はじめに北京オリンピックまでの経緯について

北京オリンピックは、２００８年の８月８日から８月２４日までの期間、中華人民共和国の首都北京を主な会場として開催予定の第２９回夏季オリンピックである。アジアで夏季オリンピックが開催されるのは１９８８年の韓国・ソウル大会以来、２０年ぶり３回目になるそうです。そして中華人民共和国では初開催だそうです。競技のうちいくつかは近隣の都市や沿岸部の都市青島で開催予定であり、馬術競技については、IOC 総会でなんと香港の沙田競技場での開催が決定されたそうです。そこで僕は世界で最も人口の多い中国でなぜオリンピックが以前まで開催されていなかったのか疑問に思い、そこで知りたくなり、調べた結果驚くことがわかりました。そして中国の事情や経緯が分かってきました。そして、北京オリンピックの裏に隠されていたことさまざまな世界事情や動きが分かりました。そして大会までの経緯が次のようです。北京での開催は２００１年７月１３日にモスクワで開かれた IOC 総会での投票により、イスタンブル、大阪、パリ、トロントの４都市を破り開催地に内定したそうだ。大阪も名乗りあげていたことにも調べてびっくりしました。僕の心境では大阪で開催してほしかったです。しかし大阪は６票しか得られなかったので外されたそうです。そしてパリやトロントの招致提案が技術的により優れているとの声もあったが、サマランチ会長率いる IOC は商業的観点から、世界一の人口を持つと共に経済成長著しい中華人民共和国でオリンピック開催を実現させることになった。

２．開催への否定的な論

２．１―人権問題について

しかしその一方で、開催への否定的な論調もある。それは中国のさまざまな事情が影響していたことが分かりました。それは、中華人民共和国における一党独裁政党の中国共産党政府の政治姿勢に対する批判から、中華人民共和国でのオリンピック開催の是非を問う国際世論が存在しているようだ。特に人権・人命軽視への批判からは、「ジェノサイド・オリンピック（大虐殺五輪）」と呼ばれ批判されているケースもあるそうです。ほんとうにこんな批判される一面もある中で開催されてよいものだろうか？ほんとうに安全に正々堂々と行われるのだろうか？そしてまた、政治問題だけでなく、人権問題に対する批判や偏見が少なからずともあります。２００５年には、アメリカ下院で中国政府がチベット問題など良心、表現、信仰、結社の自由などといった人権侵害をやめなければ、北京オリンピックの中止と開催地変更を IOC に求めるとする決議案が提出されたそうです。またアメリカのアラン・ウルフ議員は「中華人民共和国はスーダン政府に援助し、アラブ人の民兵組織を招き入れ、殺害やレイプなど悪事をかのうにしてきた。中華人民共和国が今やっていることは１９３０年代にナチスがやったことと同じである。オリンピックのボイコットを考えるのはひとしいと」まで発言していた。僕はこの意見に対して、ただの悪口としか思えなかった。そして２００７年のフランス大統領選挙におけるテレビ討論にて、セゴレーヌ・ロワイアル候補は中華人民共和国政府のダルフール紛争への対応を非難し、オリンピックのボイコットまで呼びかけたそうです。

２．２―環境問題について

また人権問題だけでなく、環境問題にも批判の声がとんでいる。水泳代表選手団は、北京の大気汚染が選手へ悪影響を懸念し、ぎりぎりまで大阪で最終調整を行うことを発表していました。そしてトイレの異臭や、禁煙のトイレで喫煙する人が後を絶たない問題があるそうです。

５．まとめ

人権問題については、白人・黒人問題など最近はだんだんと解消、解決されるなかで、このようなところで人権問題、差別が問題視されるこの世の中が寂しく思い、また辛い状況を素直には受け入れられませんでした。実際にも一番身近である日本でも、外国人差別、また人種差別などが意識・問題視されることを悲しく思い、そしていつかはこの世の中、世界中が人権問題を解決できる、そして解決するひが来るの

を願いたいです。人権問題などで戦争、紛争が起こらない世界にしたいとおもいました。
そして、環境問題については僕も一度中国に行ったことがあるのですが、そのときのことを思い出してみると、とにかくトイレは本当に臭かったです。そして水も汚かったことを印象深く覚えています。そして空気（大気）もあまり良い印象は残っていません。そこまで真剣に考えるということ４年に１度しか行われないオリンピックにかける選手団の熱い思い、国をかけての激しい熱い舞台なんだとしんしんと思いました。
そしてそのなかで僕が１番注目しているスポーツが小学校からしている野球に注目しています。２ヶ月ほど前アジア五輪予選がありなんと日本が出場することになり本当にうれしかったです。あれほどの感動ある試合、大会は忘れることないでしょう。また中国の野球のレベルもますますあがってきており、日本で活躍している選手や、メジャーで活躍する選手が続々と出ており、中国のスポーツ界からも目が離せないスポーツになりました。その中で中国の期待しているスポーツが卓球です。本当に卓球は中国のスポーツです。そして日本で中国の卓球に及ぶ選手は福原愛だと思っています。期待して見たいと思います。そして今回の北京五輪の大会スローガンとして「ONE　WORLD, ONE　DREAM」だそうです。国際社会における、人々のつながりや友好を大切にがんばって、最高のオリンピックだったといえるいい僕も一度中国に行ったことがあるのですが、そのときのことを思い出してみると、とにかくトイレは本当に臭かったです。そして水も汚かったことを印象深く覚えています。そして空気（大気）もあまり良い印象は残っていません。そこまで真剣に考えるということ４年に１度しか行われないオリンピックにかける選手団の熱い思い、国をかけての激しい熱い舞台なんだとしんしんと思いました。そして北京のオリンピックが終わってから本当に感動する、また記憶に残るような大会だったといえるような大会にしたいです。そうやって願いたいと思います。

参考文献
１．愛知大学現代中国学部編、2006.4、『現代中国　第二版』
２．ウィキペディアフリー百科事典
http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%97%E4%BA%AC%E3%82%AA%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%83%E3%82%AF

木曜日３限「中国文化事情」レポート　担当教員　朱新建

法学部法律学科１年　牧野　真央

中国の伝統音楽について

キーワード　雅楽、笙、龍笛、篳篥

1、はじめに

中国の民族音楽(伝統音楽)は長い歴史における民族の興亡、イスラム圏やヨーロッパとの東西交流の中で独特の発展を遂げてきました。
現在中国は 55 の少数民族と漢民族とで構成されていますが、それぞれの民族に伝えられた音楽は他の民族との交流の中でより内容が豊富になったり、新しい発展を遂げています。
今日の中国民族音楽の演奏でも､各少数民族の曲やメロディーが必ずといってよいほど協奏曲として取り入れられるなどとしています。
そして中国の民族音楽で使われている楽器は､中央アジアやイスラム圏から伝えられた楽器や中国各民族の伝統楽器の特色が加わり、更に近代になってさまざまに改良されたものです。日本でもなじみのある楽器が奏でる音は大変親しみがあるものです。

2、雅楽について

雅楽の原義は「雅正の楽舞」で「俗楽」の対である。多くは器楽曲で宮廷音楽として継承されていて、現在でも大規模な合奏形態で演奏される伝統音楽としては世界最古の様式である。
歴史は、10 世紀以前に中国、朝鮮半島、南アジアから伝わった儀式用の音楽が元になっている。
近代以前においては、最古の様式を伝える四天王寺の天王寺楽所(大阪)、宮中の大内楽所(京都)、春日大社の南都楽所(奈良)が三方楽所とされた。
楽曲の様式については、序・破・急があり、西洋音楽でいう第一楽章、第二楽章、第三楽章をさす。

- 序はゆったりした流れで、自由な緩急で旋律を演奏する。
- 破はゆったりした流れだが、拍子が決められていて一小節を八拍として演奏する。
- 急はさっくりとした流れとなり、拍子は一小節を四拍として演奏する。

多くの場合、破のみあるいは急のみの演奏となる。序・破・急を通しで演奏する事を「一具」という。

3、雅楽に使われる楽器について

雅楽の合奏の中心となる楽器は、一般的に三管、三鼓の 6 種類といわれる。

- 「天から差し込む光」を表す笙
- 「天と地の間を縦横無尽に駆け巡る龍」を表す龍笛
- 「地上にこだまする人々の声」を表す篳篥

この 3 つの管楽器を合わせて三管という。

4、楽器・笙について

日本には奈良時代ごろに雅楽とともに伝わってきたと考えられている。雅楽に使われる笙は、その形を翼を立てて休んでいる鳳凰に見立てられ、鳳笙とも呼ばれる。
17 本の細い竹管を円形に配置し、穴をおさえ、吹口より息を吸ったりはいたりして、17 本のうちの 15 本の竹管の下部に付けられた金属製のリードを振動させて音をだす楽器である。
押さえる穴の組み合わせを変えて和音をだすことができる。
構造上、呼吸する空気によって内部が結露して音そのものがでなくなったりしやすいので、
炭火などで常に楽器を暖めながら演奏する。

5、楽器・龍笛について

龍笛は竹の管で作られ、表側に歌口と 7 つの指穴をもつ横笛であり、能管、篠笛など和楽器の横笛全般の原型・先祖であるとも考えられている。
雅楽の楽器の中では 2 オクターブという広い音域をもち、低い音から高い音の間を出すことが出来ることから 3 に書かれている名前の由来がついた。

6、楽器・篳篥について

雅楽や雅楽の流れを汲む近代に作られた神楽などで使う管楽器のひとつ。大篳篥と小篳篥の 2 種類があり、一般には小篳篥をさす。

漆をぬった竹の管で作られ、表側に 7 つ、裏側に 2 つの穴をもつ横笛。その構造は、乾燥した蘆の管の一方に熱を加えてつぶし、責と呼ばれる輪をはめ込む。また、もう一方には図紙と呼ばれる和紙が何重にも厚く巻きつけられて作られている。そして図紙の方を篳篥本体の上部から差し込んで演奏する。西洋楽器のオーボエに近い構造である。

7、まとめ(感想)
現代でも雅楽はその編成のため、新しい作品を現代の国内外の作曲家に委属し、演奏されているみたいで国立劇場やそれ以外の民間でも演奏されているようだ。ポップスの分野では篳篥の東儀秀樹が、篳篥の音色を生かしたポピュラー音楽の編曲および自作を演奏し、メディアにも頻繁に出演するようになっていて、雅楽のイメージが幅広く日本やその他の世界にも知れ渡っている。
ＮＨＫなどでやっている音楽や外国のいろんな国について放送されている番組にも民族音楽やそれに使われている楽器などが紹介されたりしている。加えてインターネットなどの普及によりますますいろんな国や人に他国の文化が知られていくだろうと思う。
自分の興味がある「音楽」というひとくくりのジャンルで他国の伝統音楽や楽器について調べてみて膨大な量で書ききれないほどの情報を得る事ができたと思う。
この授業を通してもっと他国の音楽についての好奇心・探究心がわきました。

参考文献・インターネットのＨＰなど
http;//home.inet-osaka.or.jp/~officea/ongaku1,html 中国民族音楽の調べ
http;//tensho.chu.jp/top.html 中国民族音楽　天昇楽團
http;//www.topqd.com/wj/chinayqs.htm 山東青島　中国豆知識